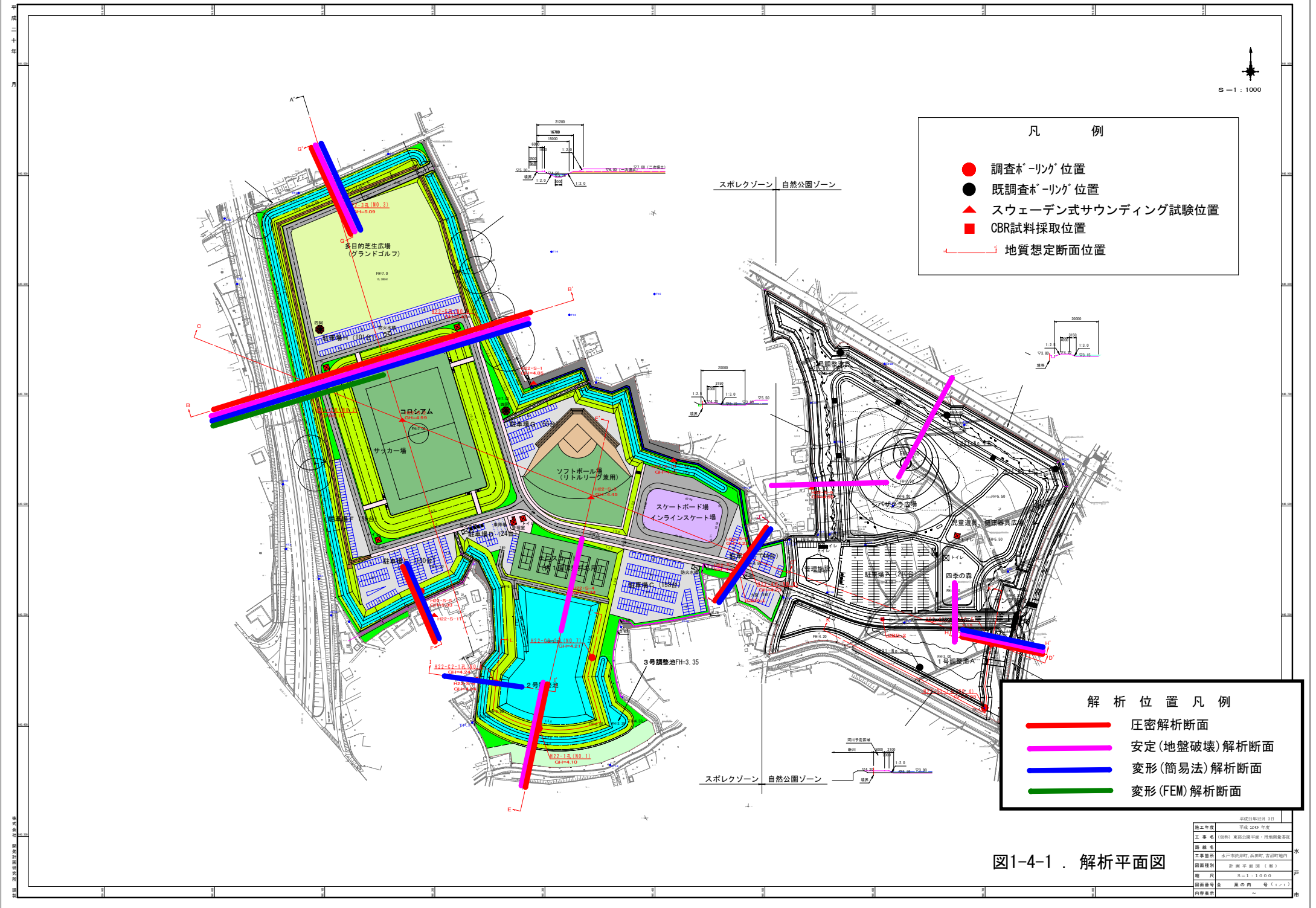




図1-2-2 . 調査平面図

竣工年度	平成 20 年度
工事名	(仮称) 東部公園平庭・用地調査等
図 録 名	水戸市計画部・建設部・公園緑地課
工事箇所	水戸市計画部・建設部・公園緑地課
調査種類	計画平面図 (表)
縮 尺	S=1:1000
図面番号	第 1 号 (1/1)
内容表示	～



凡 例

- 調査ポイント位置
- 既調査ポイント位置
- ▲ スウェーデン式サウンディング試験位置
- CBR試料採取位置
- 地質想定断面位置

解 析 位 置 凡 例

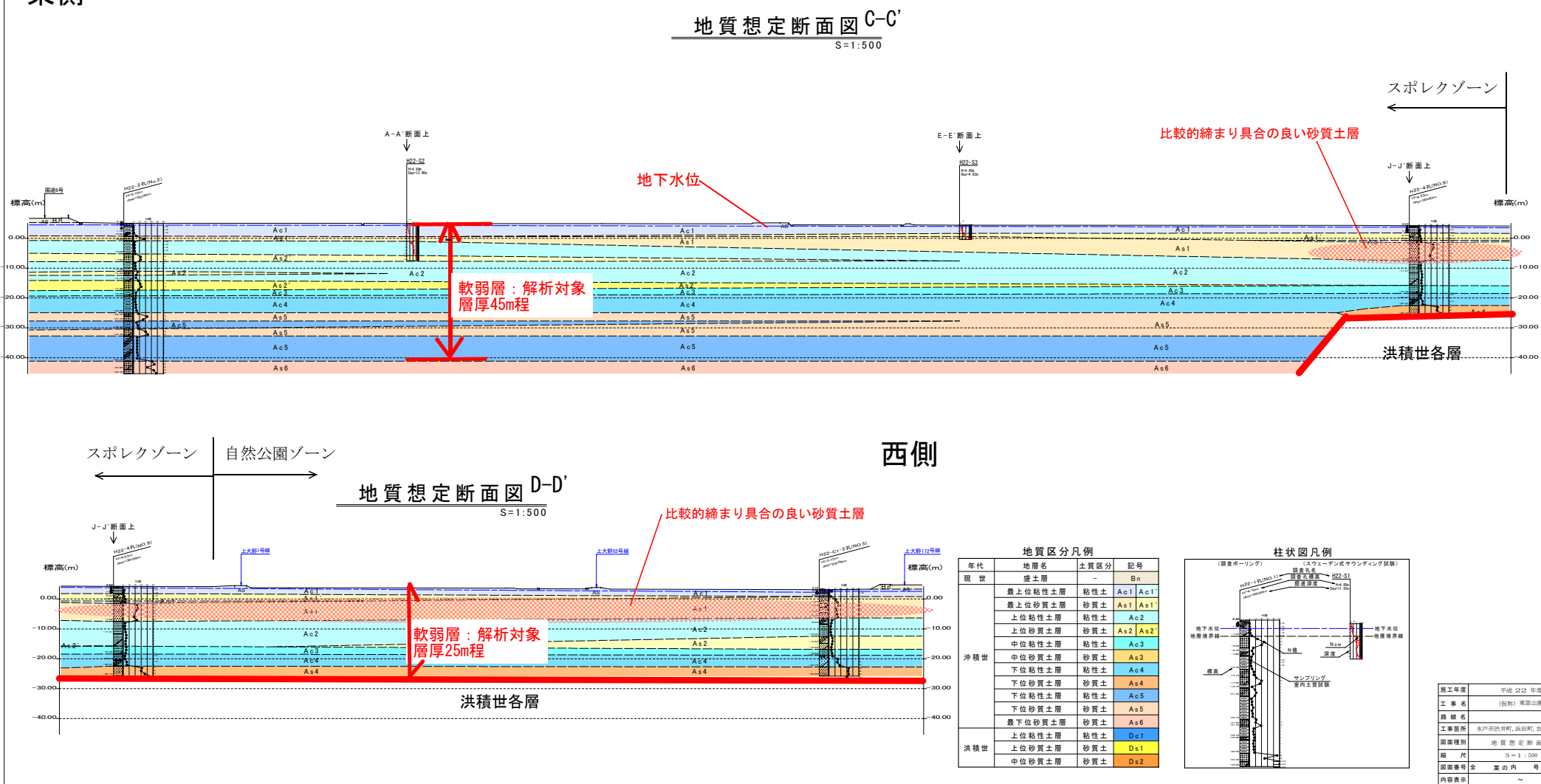
- 圧密解析断面
- 安定(地盤破壊)解析断面
- 変形(簡易法)解析断面
- 変形(FEM)解析断面

図1-4-1 解析平面図

竣工年度	平成20年度
工 事 名	(設計) 東部公園計画・用地調査等
図 紙 名	水戸市東部公園・運動場・公園用地内
工事箇所	計画公園内(東)
図面種類	計画公園内(東)
縮 尺	S=1:1000
図面番号	第 1 号 (1/1)
内容	用地調査

東側

図2-2-1. 地質想定断面図（モデル断面）



2-2-2. 調査ボーリングH22-1孔 (NO. 1)

- ・地盤高(孔口) : H = 4.10m
- ・調査深度(掘進長) : 49.00m
- ・目的 : スポレクゾーン全域の地層構成把握と2号調整池のための調査
- ・地層構成と記事 : 次の通りである。

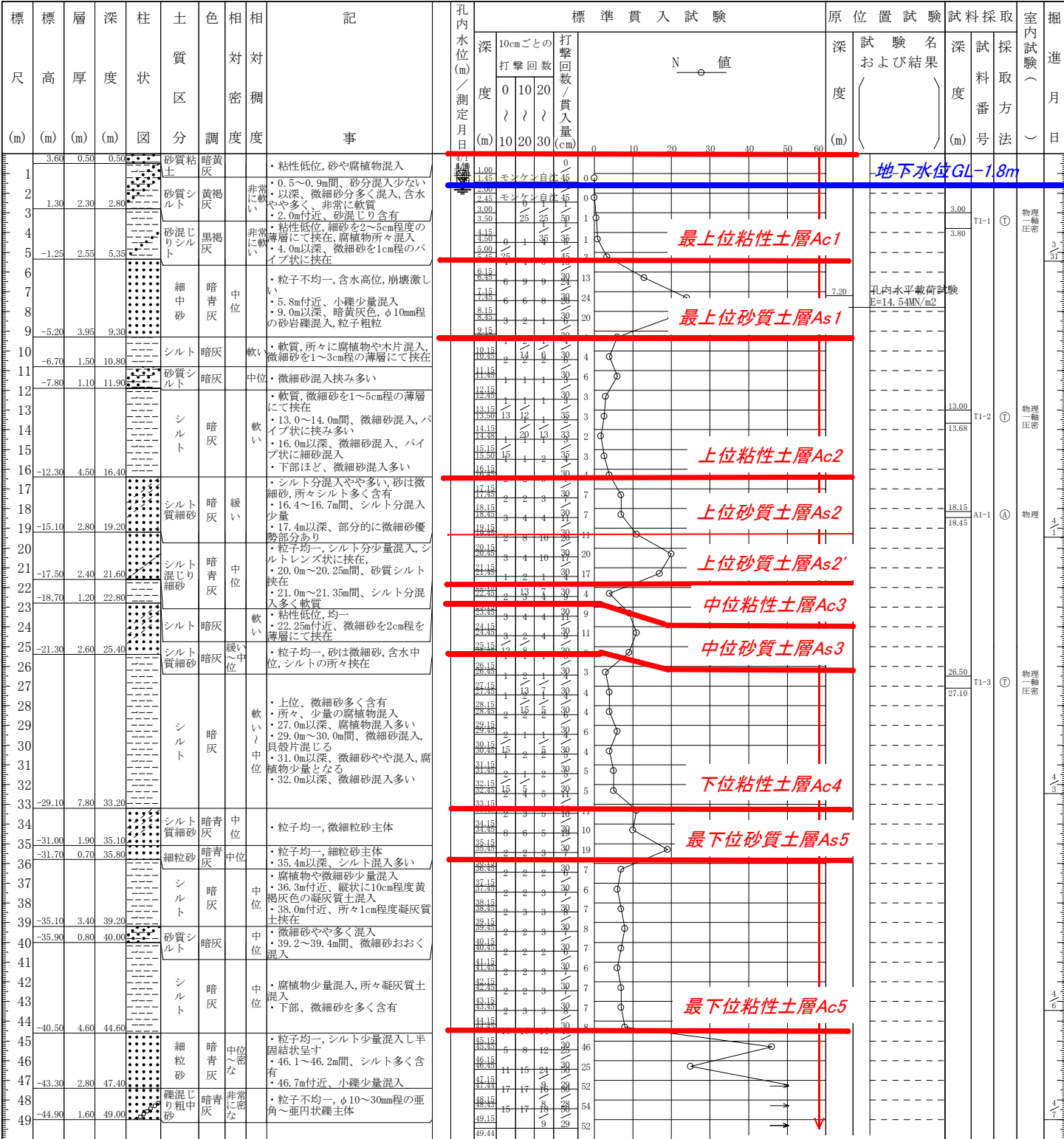


図2-2-2(1). H22-1孔 (NO. 1) 柱状図と地層区分

基底砂質土層As6

2-2-3. 調査ボーリングH22-2孔 (NO. 2)

- ・地盤高(孔口) : H = 5.10m
- ・調査深度(掘進長) : 50.00m
- ・目的 : スポレクゾーン造成盛土のための調査
- ・地層構成と記事 : 次の通りである。

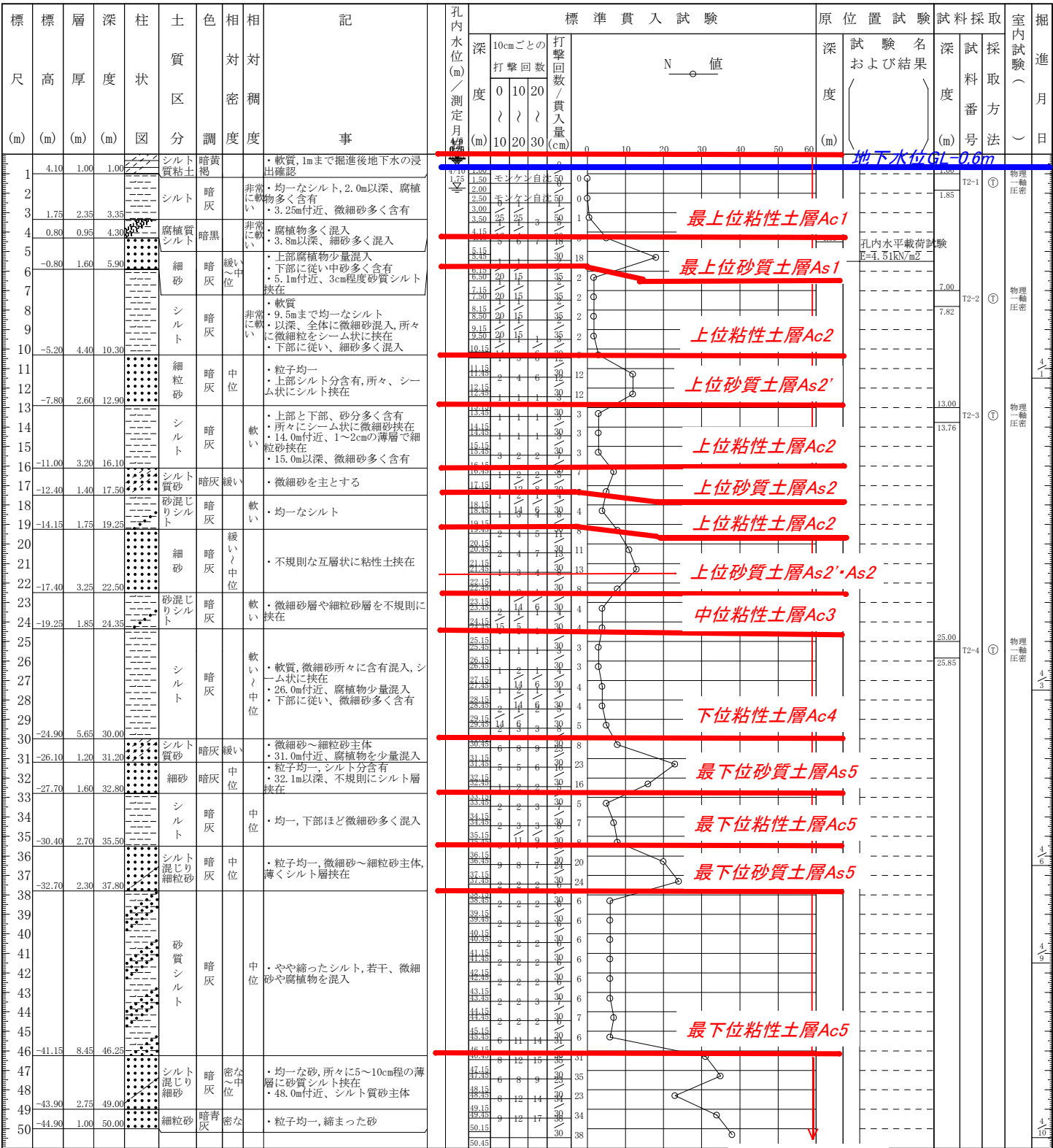


図2-2-2 (2). H22-2孔 (NO. 2) 柱状図と地層区分

基底砂質土層As6

- ・地盤高(孔口) : H = 5.09m
- ・調査深度(掘進長) : 50.00m
- ・目的 : スポレクゾーン造成盛土のための調査
- ・地層構成と記事 : 次の通りである。



2-2-5. 調査ボーリングH22-C1-1孔 (NO. 4)

- ・地盤高(孔口) : H = 3.08m
- ・調査深度(掘進長) : 28.00m
- ・目的 : 1号調整池・洪水吐工のための調査
- ・地層構成と記事 : 次の通りである。

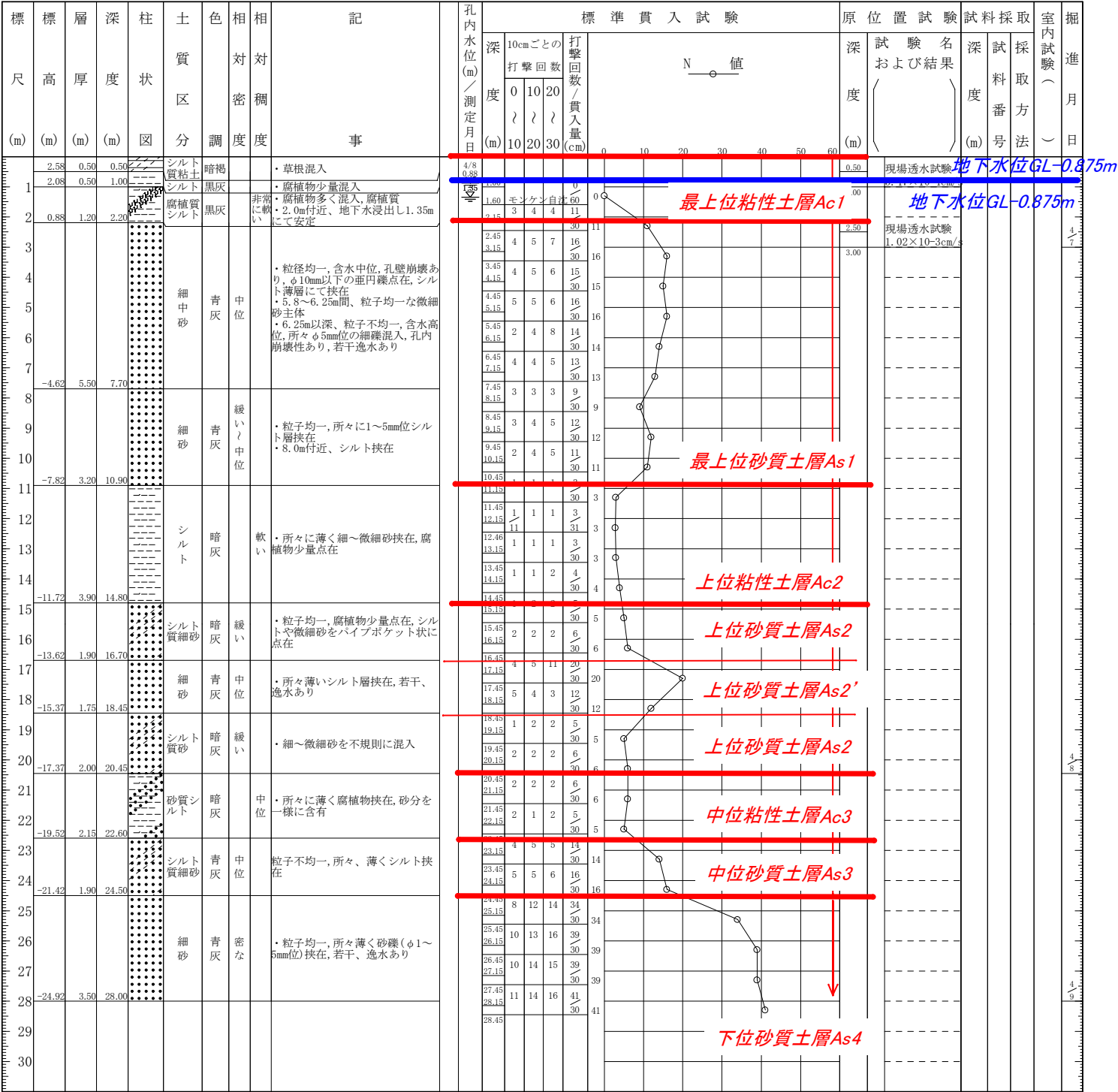


図2-2-2(4). H22-C1-1孔 (NO. 4) 柱状図と地層区分

2-2-6. 調査ボーリングH22-C1-2孔 (NO. 5)

- ・地盤高(孔口) : H = 3.15m
- ・調査深度(掘進長) : 29.00m
- ・目的 : 1号調整池のための調査
- ・地層構成と記事 : 次の通りである。

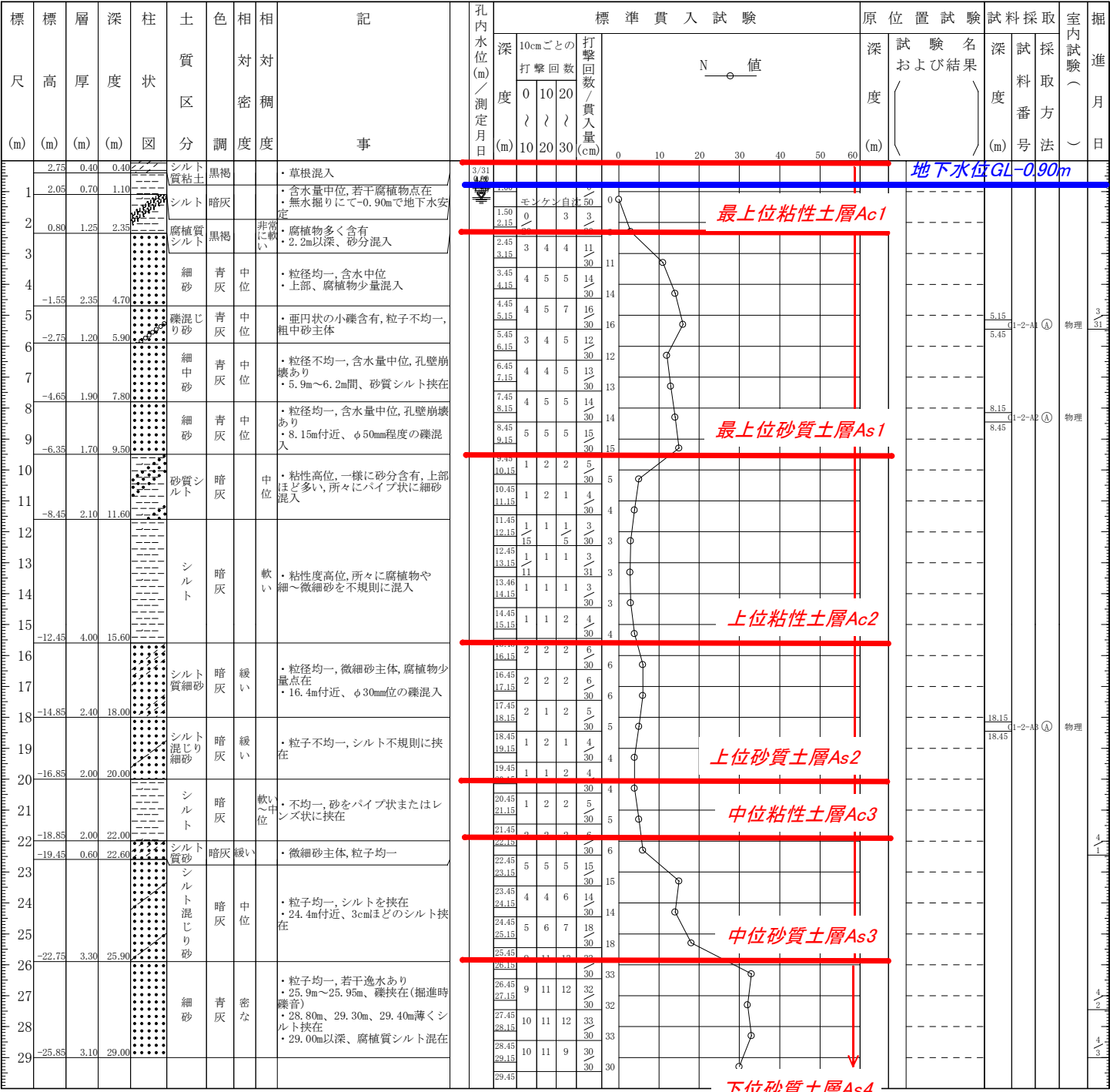


図2-2-2 (5) . H22-C1-2孔 (NO. 5) 柱状図と地層区分

2-2-7. 調査ボーリングH22-C2-1孔 (NO. 6)

- ・地盤高(孔口) : H = 4.24m
- ・調査深度(掘進長) : 41.00m
- ・目的 : 2号調整池のための調査
- ・地層構成と記事 : 次の通りである。

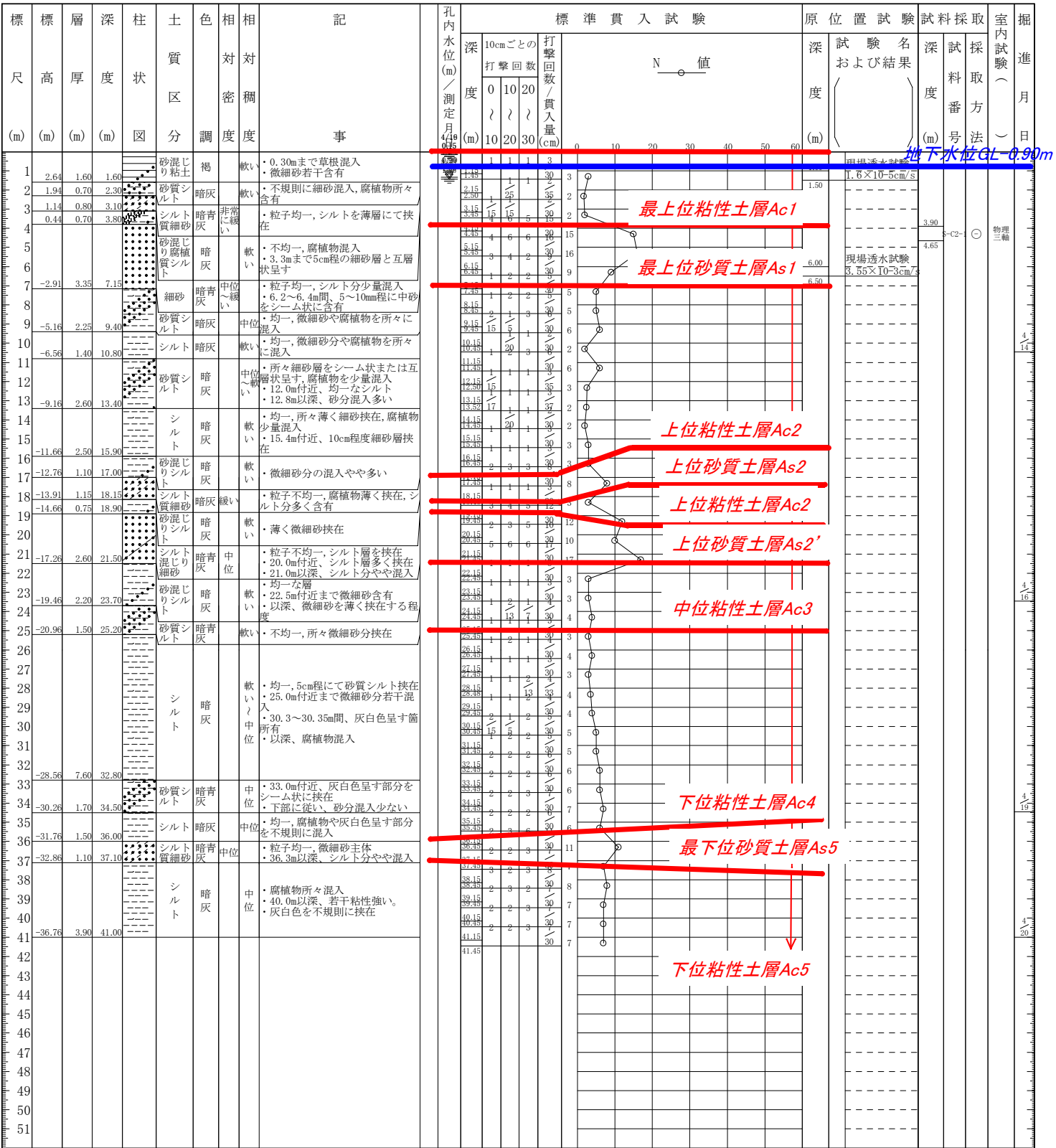


図2-2-2 (6) . H22-C2-1孔 (NO. 6) 柱状図と地層区分

2-2-8. 調査ボーリングH22-C2-2孔 (NO. 7)

- ・地盤高(孔口) : H = 4.21m
- ・調査深度(掘進長) : 48.00m
- ・目的 : 2号調整池・洪水吐工のための調査
- ・地層構成と記事 : 次の通りである。

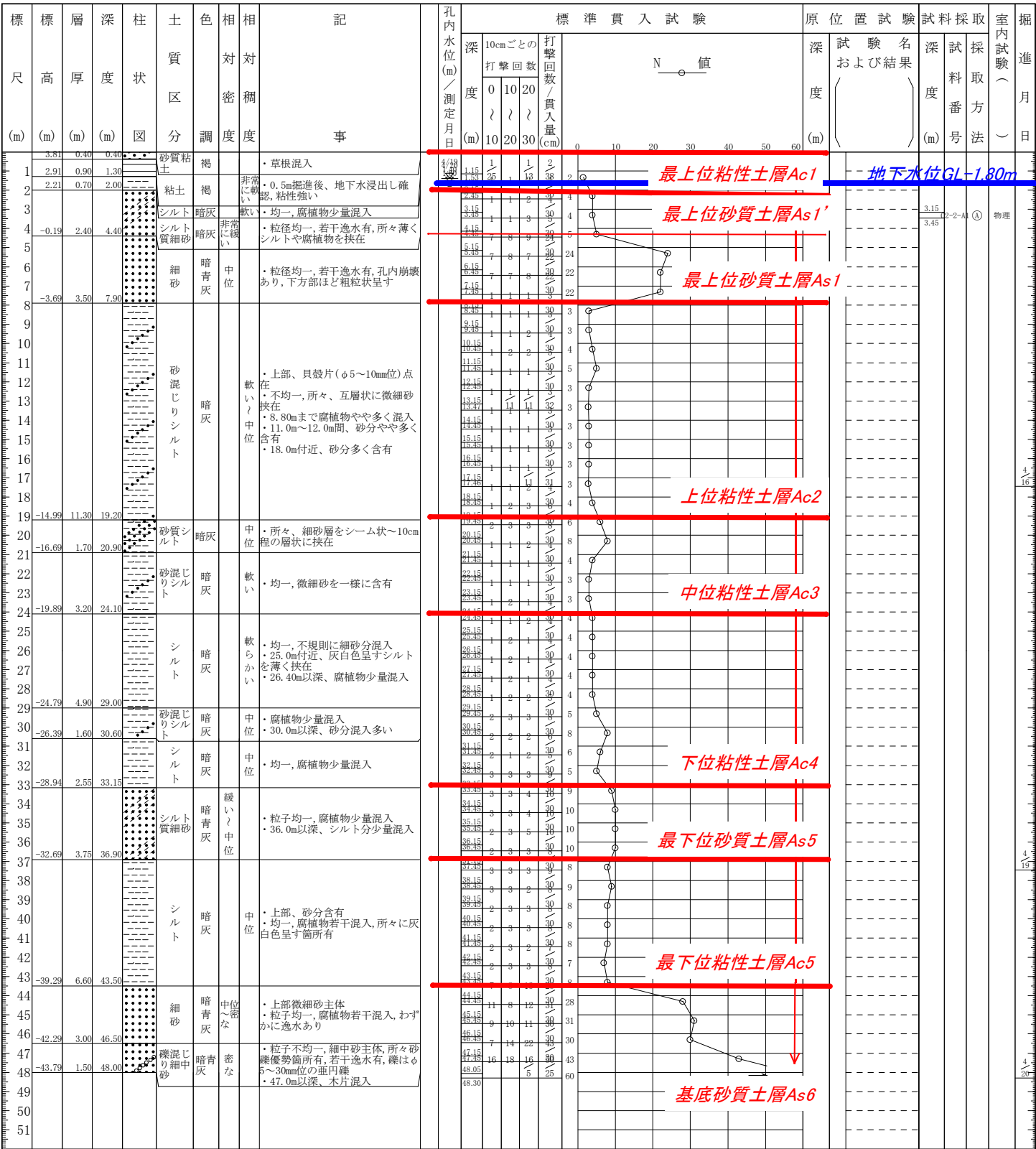


図2-2-2(7). H22-C2-2孔 (NO. 7) 柱状図と地層区分

2-2-9. 調査ボーリングH22-5孔 (NO. 8)

- ・地盤高(孔口) : H = 5.43m
- ・調査深度(掘進長) : 50.00m
- ・目的 : スポレクゾーン造成盛土のための調査
- ・地層構成と記事 : 次の通りである。

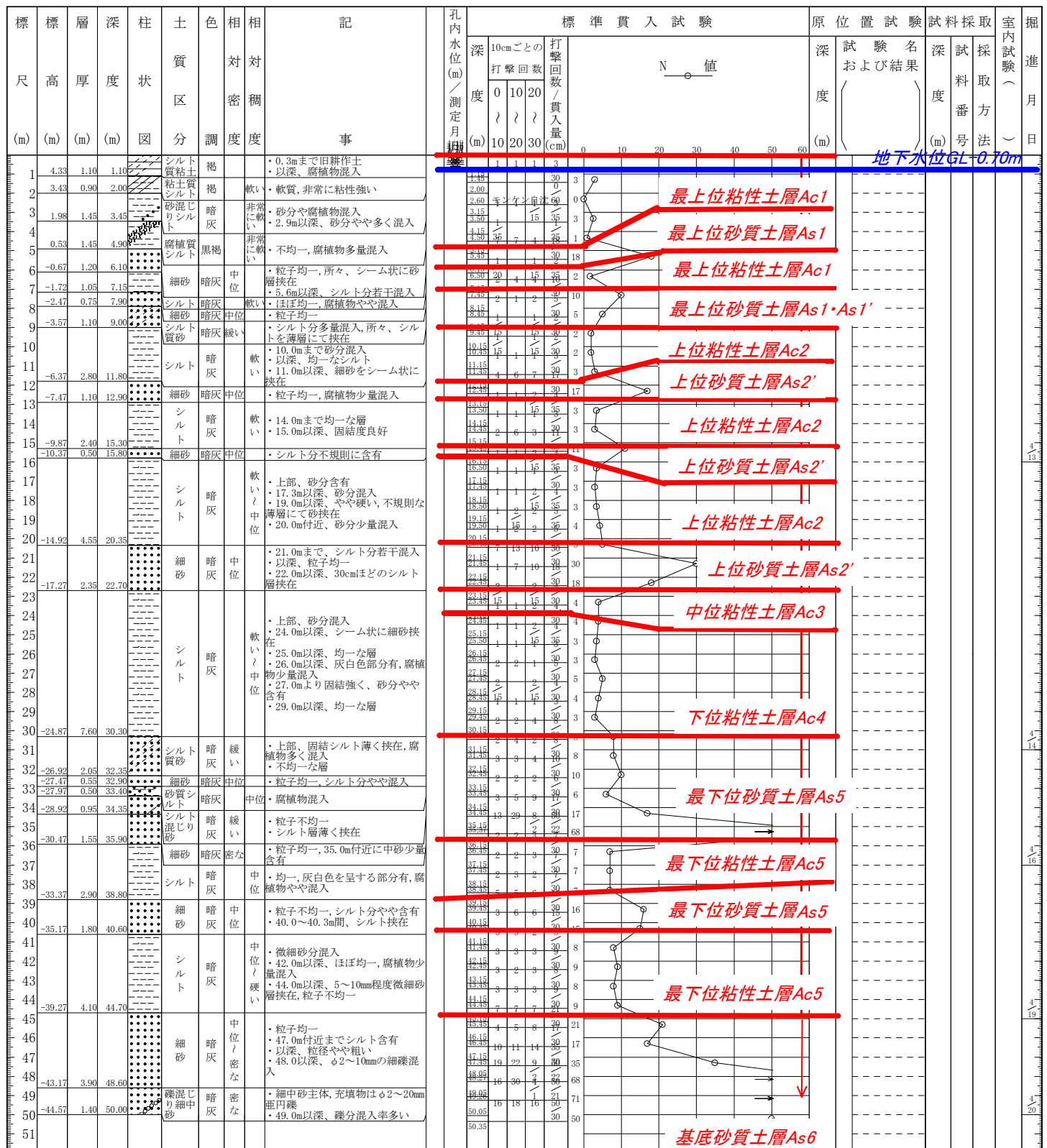


図2-2-2 (8) . H22-5孔 (NO. 8) 柱状図と地層区分

2-2-10. 調査ボーリングH22-4孔 (NO. 9)

- ・地盤高(孔口) : H = 4.23m
- ・調査深度(掘進長) : 30.00m
- ・目的 : スポレクゾーン造成盛土のための調査
- ・地層構成と記事 : 次の通りである。

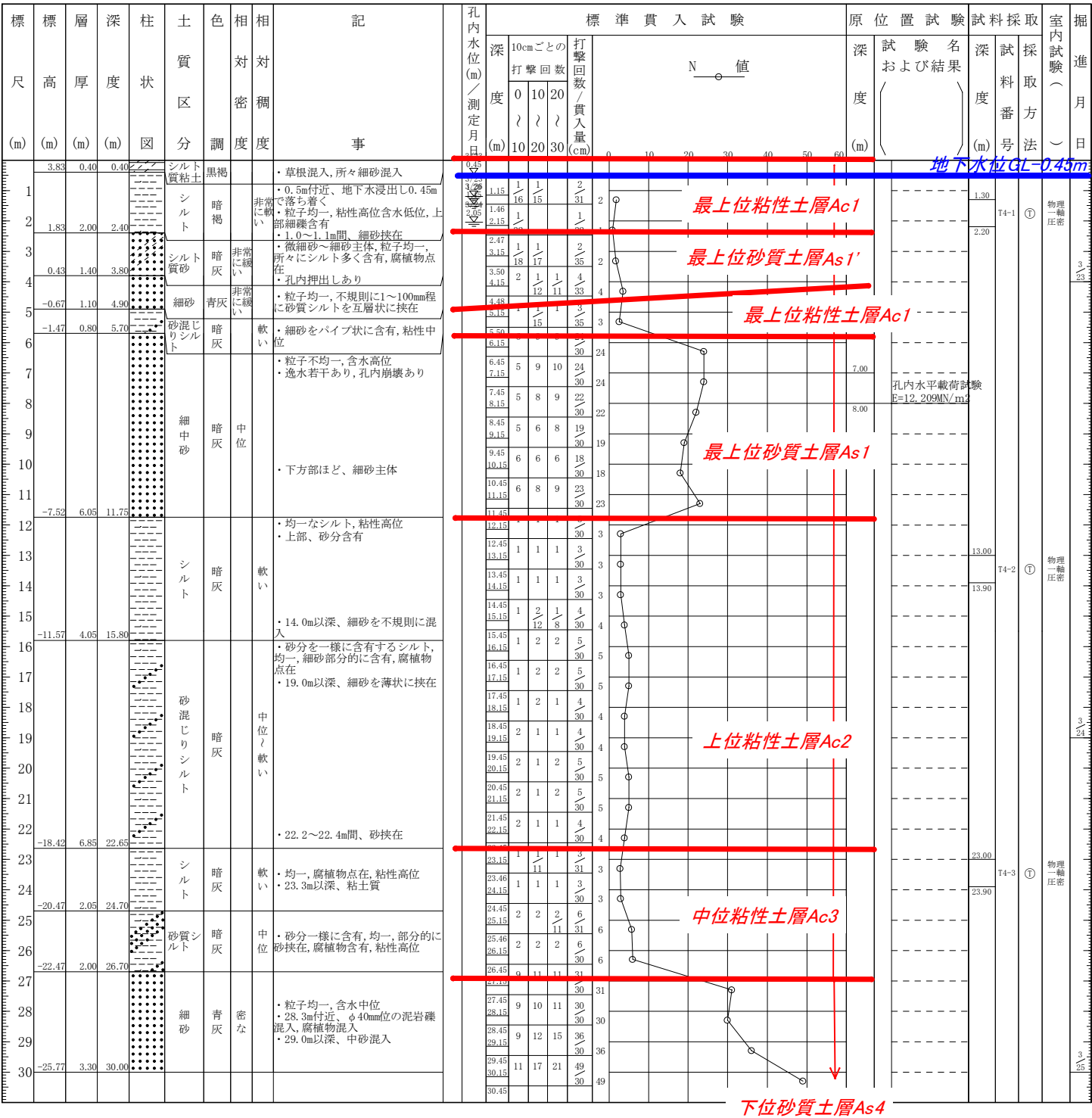


図2-2-2 (9) . H22-4孔 (NO. 9) 柱状図と地層区分

2-2-11. 調査ボーリングH22-7孔 (NO. 11)

- ・地盤高(孔口) : H = 5.16m
- ・調査深度(掘進長) : 51.00m
- ・目的 : スポレクゾーン造成盛土のための調査
- ・地層構成と記事 : 次の通りである。

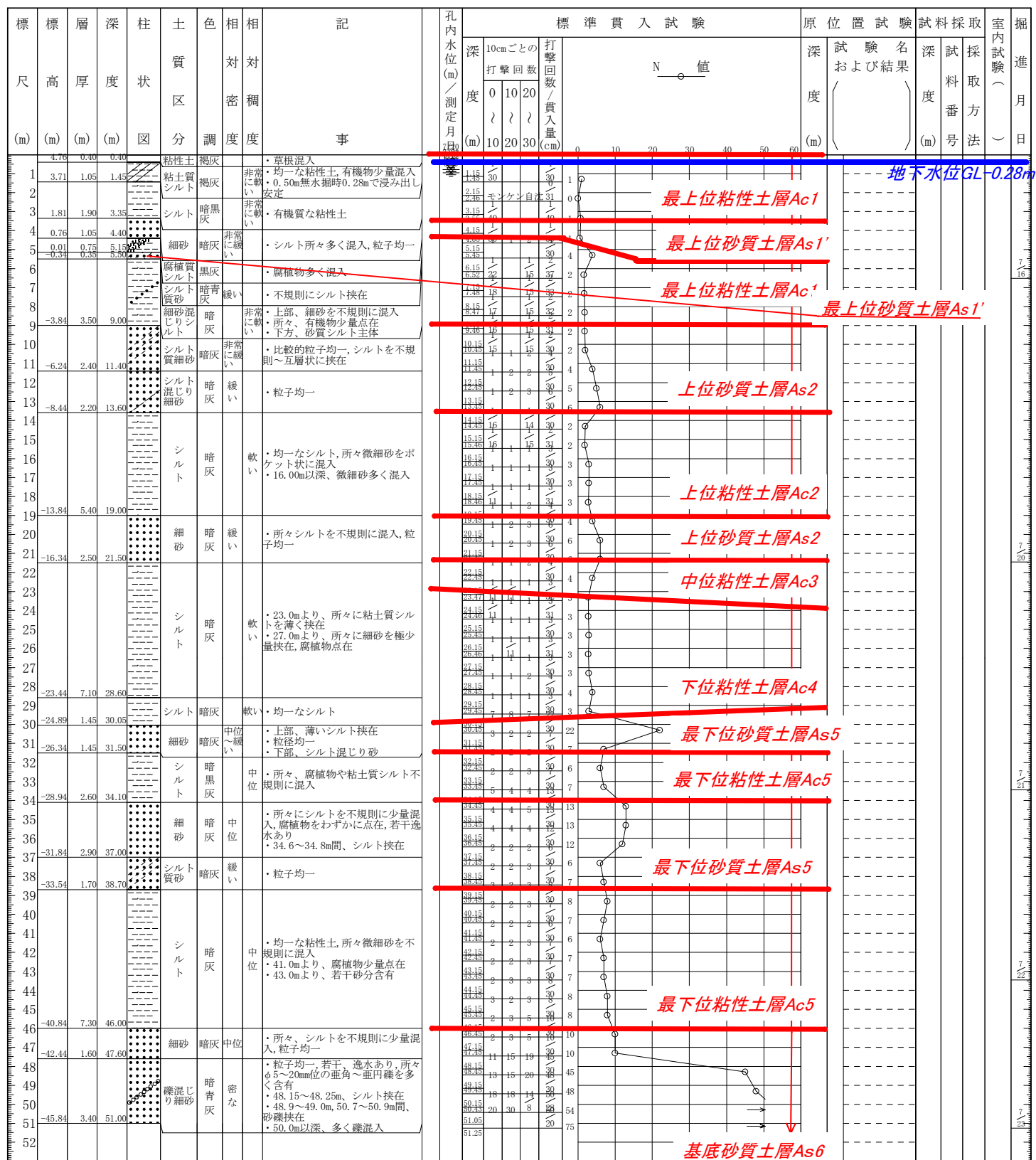


図2-2-2(10). H22-7孔 (NO. 11) 柱状図と地層区分

2-4 . 標準貫入試験結果

巻末資料集 ボーリング柱状図 参照

2-4-1 . 標準貫入試験結果

ボーリング孔を利用し、標準貫入試験を実施した結果をまとめると以下の通りである。

表2-4-1 . 標準貫入試験結果 -- N値

層 区 分	記号	H22-1	H22-2	H22-3	H22-4	H22-5	H22-7	H22-C1-1	H22-C1-2	H22-C2-1	H22-C2-2	平均値	締まり具合
沖積世最上位粘性土	Ac1	0～1	0～2	0～1	1～2	0～3	0～2	0	0	2～3	2	1	非常に軟い
	Ac1'	---	---	---	3	2	---	---	---	---	---	2	非常に軟い
沖積世最上位砂質土	As1'	---	2～4	---	---	5	1～4	---	---	---	4～5	3	非常に緩い～緩い
	As1	12～24	9～18	10～11	18～24	10～18	---	9～16	9～16	9～16	22～24	15	緩い～中位
沖積世上位粘性土	Ac2	2～6	2～6	2～4	3～5	2～5	2～6	3～4	3～5	2～6	3～4	3	非常に軟い～中位
沖積世上位砂質土	As2'	11～20	11～13	10～24	18～30	11～17	---	12～20	---	10～17	---	15	中 位
	As2	7	5～8	5～9	---	---	2～6	5～6	4～6	8	---	5	非常に緩い～緩い
沖積世中位粘性土	Ac3	4	4	4～7	4～5	4	4	5～6	4～5	3～4	3～8	4	軟い～中位
沖積世中位砂質土	As3	9～11	---	15	---	---	---	14～16	14～18	---	---	13	緩い～中位
沖積世下位粘性土	Ac4	3～6	3～5	4～7	3～6	3～5	3～4	---	---	3～7	4～8	4	軟い～中位
沖積世下位砂質土	As4	---	---	---	30～49	---	---	34～41	30～33	---	---	35	密な
沖積世最下位粘性土	Ac5	6～8	5～8	7～9	---	7～9	6～8	---	---	7～8	7～9	7	中位
沖積世最下位砂質土	As5	10～19	8～24	12～26	---	6～17	6～22	---	---	11	9～10	13	緩い～中位
沖積世基底砂質土	As6	25～50	23～38	27～50	---	17～50	10～50	---	---	---	28～50	37	中位～密な

沖積世基底砂質土As6は、深部ほどN値30以上を示す層であり、上位層との境界部に緩い砂質土を挟み軟質な部分がある

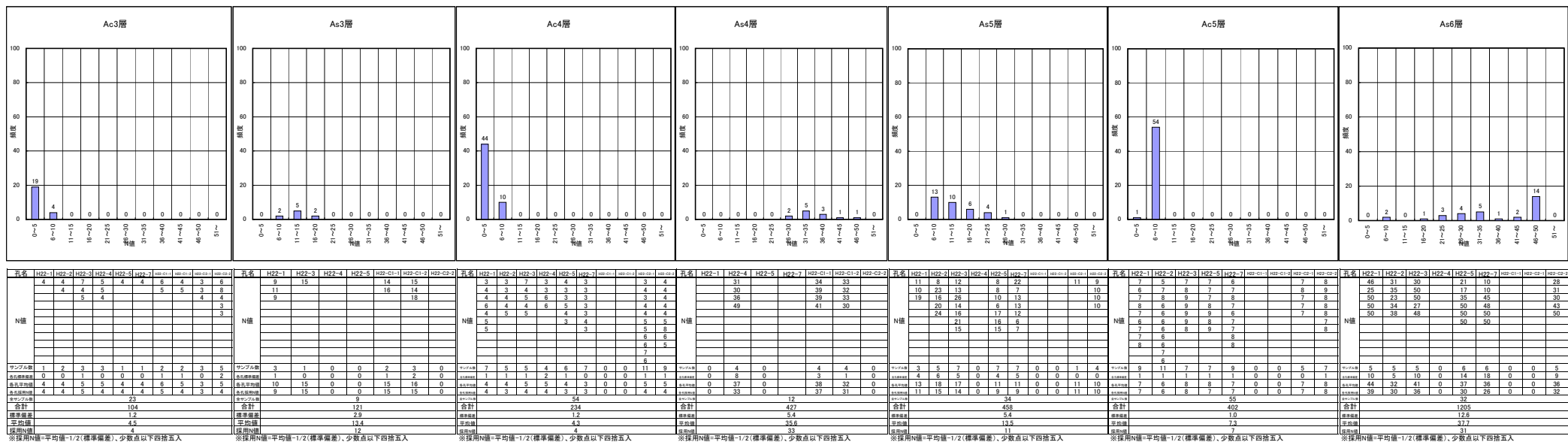
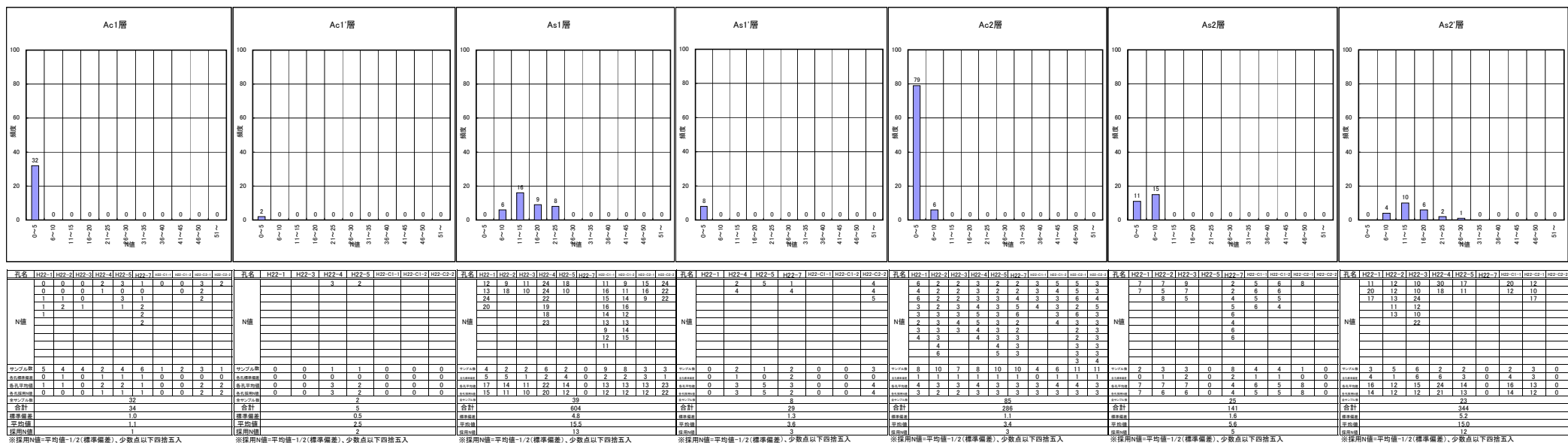


図2-4-1.各層のN値頻度分布

2-7-3 . 粘性土における力学試験結果と試料の乱れについて

一軸圧縮試験により得られた試験値をまとめたものを表2-7-8(1)に示す。

表2-7-8(1) . 一 軸 圧 縮 試 験 結 果

試料番号	層区分	試料番号	標高 YP+m	一軸圧縮試験 qu(kN/m ²)	変形係数 E50 (MN/m ²)	破壊ひずみ ε _f (%)
H22-1孔 GL-3.00~3.80m	Ac1	T1-1	0.7	45.8	2.310	4.79
				55.3	2.230	4.00
H22-1孔 GL-13.00~13.68m	Ac2	T1-2	-9.24	75.3	2.470	4.86
				62.5	3.330	3.49
H22-1孔 GL-26.50~27.10m	Ac4	T1-3	-22.7	163.7	8.990	2.42
				164.0	10.400	2.16
H22-2孔 GL-1.00~1.85m	Ac1	T2-1	3.67	20.1	1.570	3.80
				17.4	1.450	3.68
H22-2孔 GL-7.00~7.82m	Ac2	T2-2	-2.31	83.1	4.280	2.87
				77.0	4.760	2.80
H22-2孔 GL-13.00~13.76m	Ac2	T2-3	-8.28	102.1	5.980	3.05
				101.8	10.470	1.80
H22-2孔 GL-25.00~25.85m	Ac4	T2-4	-20.33	135.9	6.500	3.00
				144.2	7.280	2.95
H22-3孔 GL-1.00~1.85m	Ac1	T3-1	3.66	18.7	2.120	1.48
				22.7	2.420	6.00
H22-3孔 GL-7.00~7.80m	Ac2	T3-2	-2.31	48.1	1.510	5.00
				58.7	1.460	6.35
H22-3孔 GL-18.00~18.80m	Ac2	T3-3	-13.31	119.0	4.180	4.22
				140.8	7.930	3.55
H22-3孔 GL-23.80~24.60m	Ac3	T3-4	-18.11	142.1	6.320	3.36
				146.0	5.470	4.00
H22-3孔 GL-37.50~38.30m	Ac5	T3-5	-32.81	153.6	4.320	5.00
				133.2	5.080	3.84
H22-4孔 GL-1.30~2.20m	Ac1	T4-1	2.48	25.0	1.700	4.99
				26.0	1.540	5.87
H22-4孔 GL-13.00~13.90m	Ac2	T4-2	-9.22	134.0	6.780	3.40
				111.0	3.410	3.75
H22-4孔 GL-23.00~23.90m	Ac4	T4-3	-19.22	137.0	4.530	4.46
				120.0	3.300	4.61

一軸圧縮試験を実施すると破壊ひずみが求まってくるが、一般的に粘土であれば、この値が5.0%以内だと乱れていない試料と判断することができる。ただし、腐植物の影響を受けた場合は高くなる傾向がある。

今回、平均破壊ひずみ値から判断すれば、試験を行った多くは、5.0%以下にあり乱れの少ない試料であったことが判断できる。

各試験結果を各層ごとにまとめると次の通りである。

表2-7-8(2) . 各層における一軸圧縮試験結果

試料番号	層区分	試料番号	標高 YP+m	一軸圧縮試験 qu(kN/m ²)	平均値	変形係数 E50 (MN/m ²)	平均値	粘着力 c(kN/m ²)	平均値
H22-1孔 GL-3.00~3.80m	Ac1	T1-1	0.7	45.8	21.7	2.310	1.918	22.90	14.4
				55.3		2.230		27.65	
H22-2孔 GL-1.00~1.85m	Ac1	T2-1	3.67	20.1		1.570		10.05	
				17.4		1.450		8.70	
H22-3孔 GL-1.00~1.85m	Ac1	T3-1	3.66	18.7		2.120		9.35	
				22.7		2.420		11.35	
H22-4孔 GL-1.30~2.20m	Ac1	T4-1	2.48	25.0		1.700		12.50	
				26.0		1.540		13.00	
H22-1孔 GL-13.00~13.68m	Ac2	T1-2	-9.24	75.3	92.8	2.470	4.713	37.65	46.4
				62.5		3.330		31.25	
H22-2孔 GL-7.00~7.82m	Ac2上	T2-2	-2.31	83.1		4.280		41.55	
				77.0		4.760		38.50	
H22-2孔 GL-13.00~13.76m	Ac2下	T2-3	-8.28	102.1		5.980		51.05	
				101.8		10.470		50.90	
H22-3孔 GL-7.00~7.80m	Ac2上	T3-2	-2.31	48.1		1.510		24.05	
				58.7		1.460		29.35	
H22-3孔 GL-18.00~18.80m	Ac2下	T3-3	-13.31	119.0	Ac2上	4.180	Ac2上	59.50	72.0
				140.8	66.7	7.930	3.003	70.40	
H22-4孔 GL-13.00~13.90m	Ac2	T4-2	-9.22	134.0	Ac2下	6.780	Ac2下	67.00	
				111.0	105.8	3.410	5.569	55.50	
H22-3孔 GL-23.80~24.60m	Ac3	T3-4	-18.11	142.1	144.1	6.320	6.833	71.05	
				146.0		5.470		73.00	
H22-1孔 GL-26.50~27.10m	Ac4	T1-3	-22.7	163.7		8.990		81.85	
				164.0		10.400		82.00	
H22-2孔 GL-25.00~25.85m	Ac4	T2-4	-20.33	135.9		6.500		67.95	
				144.2		7.280		72.10	
H22-4孔 GL-23.00~23.90m	Ac4	T4-3	-19.22	137.0		4.530		68.50	
				120.0		3.300		60.00	
H22-3孔 GL-37.50~38.30m	Ac5	T3-5	-32.81	153.6	143.4	4.320	4.700	76.80	71.7
				133.2		5.080		68.60	

表2-7-9 . 各層における圧密試験結果と過圧密比

調査孔	深度 (GL- m)	層区分	標高 YP+m	圧密降伏応力 Pc(kN/m ²)	有効応力 P0(kN/m ²)	OCR	圧縮指数 Cc
H22-1	3.00~3.80m	Ac1	0.70	68.0	40.1	1.70	0.69
H22-2	1.00~1.85m		3.67	50.2	15.3	3.28	0.61
H22-3	1.00~1.85m		3.66	46.5	17.8	2.61	0.56
H22-4	1.30~2.20m		2.48	57.5	15.9	3.62	0.38
H22-1	13.00~13.68m	Ac2	-9.24	160.3	110.6	1.45	0.44
H22-2	7.00~7.82m		-2.31	139.9	56.6	2.47	0.58
H22-2	13.00~13.76m		-8.28	193.1	98.0	1.97	0.57
H22-3	7.00~7.80m		-2.31	107.6	58.9	1.83	0.60
H22-3	18.00~18.80m		-13.31	244.9	134.9	1.82	0.66
H22-4	13.00~13.90m		-9.22	204.2	102.3	2.00	0.52
H22-3	23.80~24.60m	Ac3	-18.11	278.0	178.7	1.56	0.62
H22-1	26.50~27.10m	Ac4	-22.70	332.0	208.3	1.59	0.94
H22-2	25.00~25.85m		-20.33	226.2	183.0	1.24	0.63
H22-4	23.00~23.90m		-19.22	283.6	168.2	1.69	0.81
H22-3	37.50~38.30m	Ac5	-32.81	329.7	275.3	1.20	0.31

一般的に、強度増加率mは一軸圧縮試験や三軸圧縮試験（CU 条件：圧密，非排水条件）により求められる。

ここでは、粘着力(または一軸圧縮強さ)と圧密試験による圧密降伏応力 pc による推定値を参考にするとともに、土質による一般値についても考慮して求めた(表 2-7-10 参照)。

$$m = (qu/2) / pc \text{ or } C/pc \quad (\text{圧縮強さによる推定})$$

表2-7-10 . 各層における強度増加率m

調査孔	深度 (GL- m)	層区分	一軸圧縮試験 qu(kN/m ²)	圧密降伏応力 平均Pc(kN/m ²)	有効応力 平均P0(kN/m ²)	平均qu・1.5 (kN/m ²)	強度増加率m	代表強度増加率m
H22-1	3.00～3.80m	Ac1	50.55	55.55	33.4	43.3125	0.372	0.251
H22-2	1.00～1.85m		18.75	≒55	≒30	≒40	0.187	
H22-3	1.00～1.85m		20.7				0.223	
H22-4	1.30～2.20m		25.5				0.222	
H22-1	13.00～13.68m	Ac2	68.9	175.00	140.3	139.175	0.215	0.263
H22-2	7.00～7.82m		80.05		≒140	≒135	0.288	
H22-2	13.00～13.76m		101.95	123.75	86.8	100.0875	0.264	
H22-3	7.00～7.80m		53.4	≒120	≒85	≒100	0.248	
H22-3	18.00～18.80m		129.9	185.87	167.1	158.71875	0.265	
H22-4	13.00～13.90m		122.5	≒185	≒165	≒155	0.300	
H22-3	23.80～24.60m	Ac3	144.05	275.0	175.0	216.1	0.259	0.259
H22-1	26.50～27.10m	Ac4	163.85	280.60	186.49	216.2	0.247	0.261
H22-2	25.00～25.85m		140.05	≒280	≒185	≒215	0.310	
H22-4	23.00～23.90m		128.5				0.227	
H22-3	37.50～38.30m	Ac5	143.4	325.0	275.0	215.1	0.217	0.217

一般的な強度増加率mは表 2-7-11 に示す通りである。

表 2-7-11 . 強度増加率mの一般値

土質	強度増加率 m
粘性土	0.30 ～ 0.45
シルト	0.25 ～ 0.40
黒泥	0.20 ～ 0.35
PEAT	0.35 ～ 0.50

このことから考えれば、強度増加率mは 0.25 程度の低い強度増加率mであることが判断できる。

一方、唯一、最下部粘性土層 Ac5 を対象として行った試験値は、強度増加率m＝0.21 と低い値を示している。

この原因を近くで行ったN値や圧密試験による圧密降伏応力 pc から推測すれば一軸圧縮強さ qu が低いことが原因と判断する。

続いて、圧密試験の結果をとりまとめたものを図2-7-6(1) (2)に示す。

沖積世最上位粘性土層Ac1で行った試験値は、初期間隙比e0=1.8～1.4とバラツキが大きい、圧縮指数Cc=0.38～0.69の値が得られているが、Cc=0.60前後に相関性が見られる。

一方、沖積世上位粘性土層Ac2や沖積世中位粘性土層Ac3は、初期間隙比e0=1.6～1.8, 圧縮指数Cc=0.44～0.66とほぼ同じ傾向を示す。

沖積世下位粘性土層Ac4は、初期間隙比e0=1.5～1.8, 圧縮指数Cc=0.63～0.94と

2-7-5 . 砂層における三軸圧縮試験結果

沖積世砂質土層As1において三軸圧縮試験を行い求められた試験値を以下に示す。

表2-7-12 . 力学試験結果（有効応力）

試料 番号	粘着力 c' (kN/m ²)	せん断抵抗角 ϕ' (度)	採用粘着力 c' (kN/m ²)	採用せん断抵抗角 ϕ' (度)
S-C2-1	44	37.1	44$\div$0	37.1$\div$35

2-10 . スウェーデン式サウンディング試験結果

巻末資料集 スウェーデン式サウンディング試験結果集

2-10-1 . スウェーデン式サウンディング試験結果と地層区分

スウェーデン式サウンディング試験は、造成地全体の上部の地層の把握や、住宅地側への解析の際の補完、規模が小さい水路工の支持地盤把握のために実した。

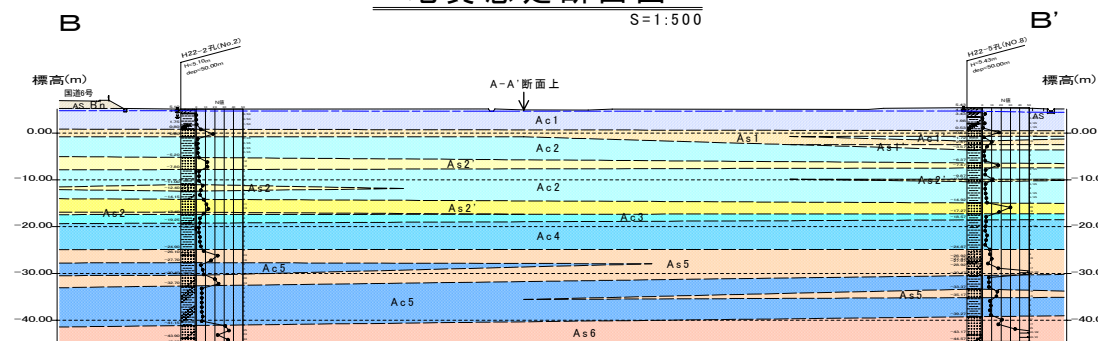
以下に感触や音、貫入量、ボーリング結果などをもとに、層区分を実施した。その結果を示す。

表 2-10-1 . サウンディング試験結果と層区分

地層区分	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6
最上位粘性土層 Ac1	0.00m～4.25m	0.00m～4.40m	0.00m～2.75m	0.00～1.93m	0.00～3.52m	0.00m～2.85m
最上位砂質土層 As1 (As1')	(4.25m～7.25m)	4.40m～6.00m	(2.75m～3.75m) 3.75m～4.92m	(1.93m～2.75m) GL-2.75m～3.42m	(3.52m～4.25m) 4.25m～5.00m	2.85m～7.00m
上位粘性土層 Ac2	7.25m～11.25m	6.00m～10.75m	----	----	5.00～9.25m 13.50m～19.00m	7.00m～17.25m 18.25m～19.25m
上位砂質土層 As2 (As2')	(11.25m～11.91m)	(10.75m～12.46m)	----	----	9.25m～13.50m (19.00m～19.91m)	17.25m～18.25m (19.25m～19.72m)
地層区分	S-7	S-8	S-9	S-10	S-11	
最上位粘性土層 Ac1	0.00m～2.75m	0.00m～2.61m	0.00m～2.75m	0.00m～3.59m	0.00m～4.25m	
最上位砂質土層 As1 (As1')	2.75m～7.48m	(2.61m～4.75m) 4.75m～8.00m	(2.75m～5.00m) 5.00m～7.14m	(3.59m～6.50m)	4.25m～4.75m	
上位粘性土層 Ac2	----	----	----	6.50m～10.25m	----	
上位砂質土層 As2 (As2')	-	-	----	(10.25m～11.18m)	----	

地質想定断面図 B-B'

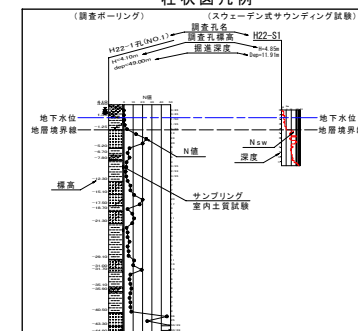
S=1:500



地質区分凡例

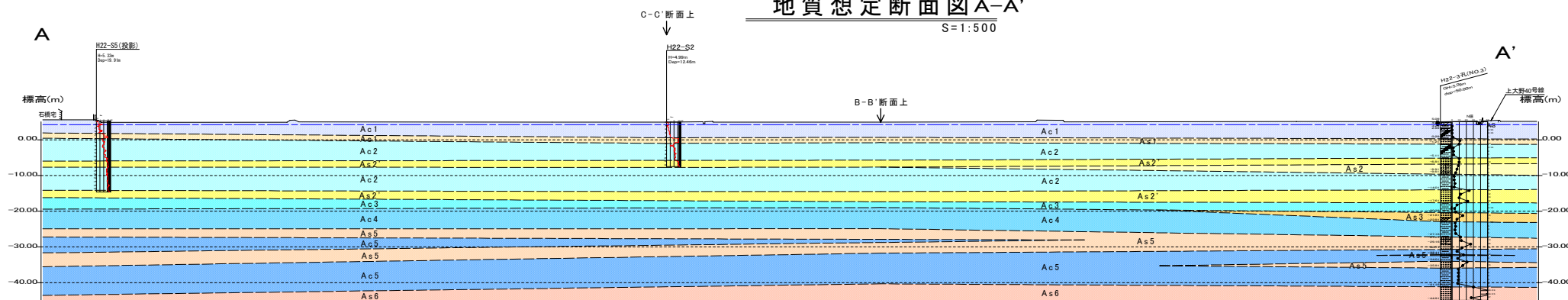
年代	地層名	土質区分	記号
現世	盛土層	-	Bn
沖積世	最上位粘性土層	粘性土	Ac1 Ac1'
	最上位砂質土層	砂質土	As1 As1'
	上位粘性土層	粘性土	Ac2
	上位砂質土層	砂質土	As2 As2'
	中位粘性土層	粘性土	Ac3
	中位砂質土層	砂質土	As3
	下位粘性土層	粘性土	Ac4
	下位砂質土層	砂質土	As4
	下位粘性土層	粘性土	Ac5
	下位砂質土層	砂質土	As5
洪積世	最下位砂質土層	砂質土	As6
	上位粘性土層	粘性土	Dc1
	上位砂質土層	砂質土	Ds1
	中位砂質土層	砂質土	Ds2

柱状図凡例



地質想定断面図 A-A'

S=1:500



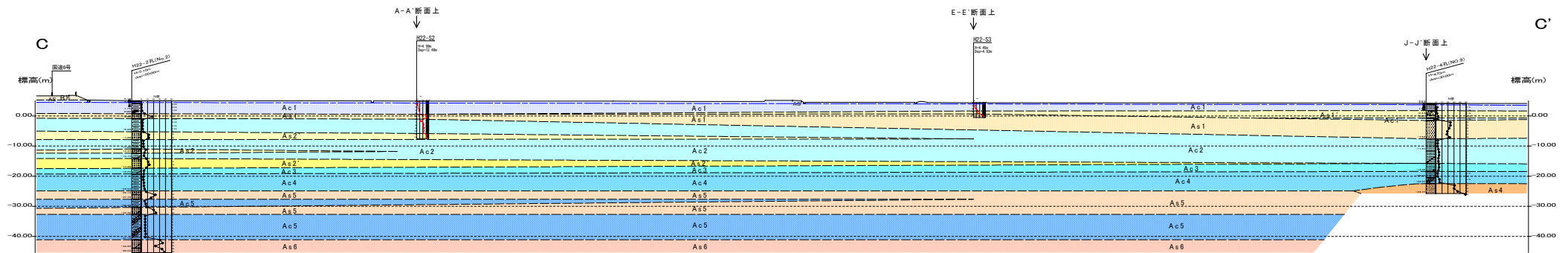
A-A' B-B'

施工年度	平成 12 年度
工事名	(仮称) 東部公園地質調査 (その2) 委託
路線名	水戸市浪井町、浜田町 地内
工事箇所	地質想定断面図
縮尺	図示
図面番号	全 業 の 内 号 (1 / 6)
内容表示	~

図2-11-1(1). 地質想定断面図P1

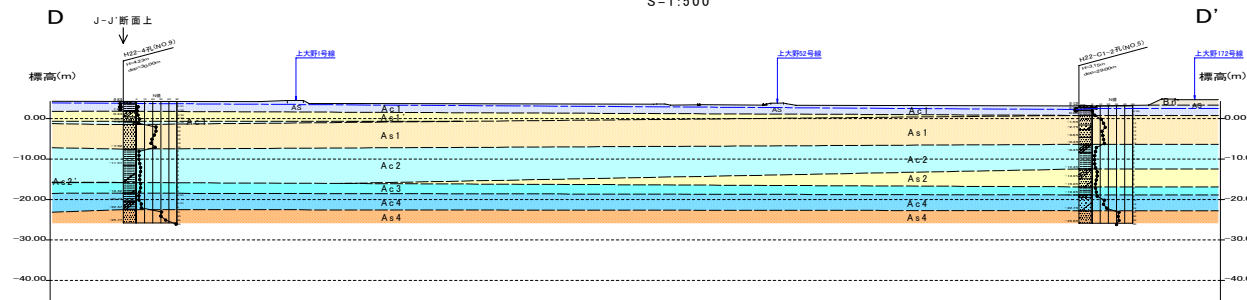
地質想定断面図 C-C'

S=1:500



地質想定断面図 D-D'

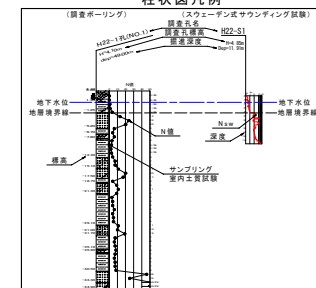
S=1:500



地質区分凡例

年代	地層名	土質区分	記号
現世	礫土層		Bn
沖積世	最上位粘性土層	粘性土	Ac1 Ac1'
	最上位砂質土層	砂質土	As1 As1'
	上位粘性土層	粘性土	Ac2
	上位砂質土層	砂質土	As2 As2'
	中位粘性土層	粘性土	Ac3
	中位砂質土層	砂質土	As3
	下位粘性土層	粘性土	Ac4
	下位砂質土層	砂質土	As4
	下位粘性土層	粘性土	Ac5
	下位砂質土層	砂質土	As5
洪積世	最下位砂質土層	砂質土	As6
	上位粘性土層	粘性土	Dc1
	上位砂質土層	砂質土	Ds1
	中位砂質土層	砂質土	Ds2

柱状図凡例



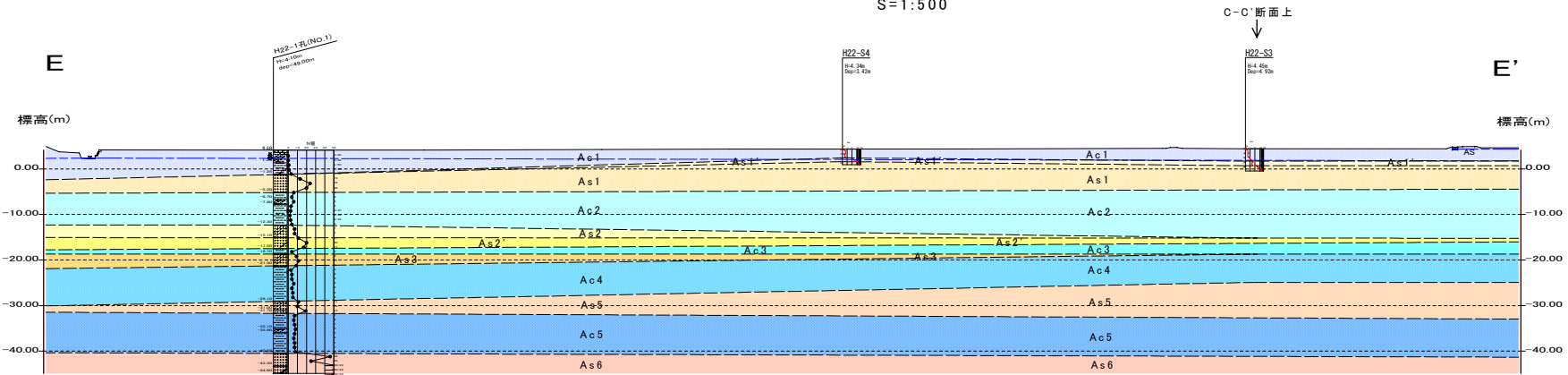
C-C' D-D'

施工年度	平成 22 年度
工事名	(仮称) 東部公園地質調査(その2)委託
路線名	水戸市池井町、飯田町、地内
工事箇所	
調査種別	地質想定断面図
編 号	図 示
図面番号	全 葉の内 号 (1/4)
内容表示	~

図2-11-1 (2). 地質想定断面図P2

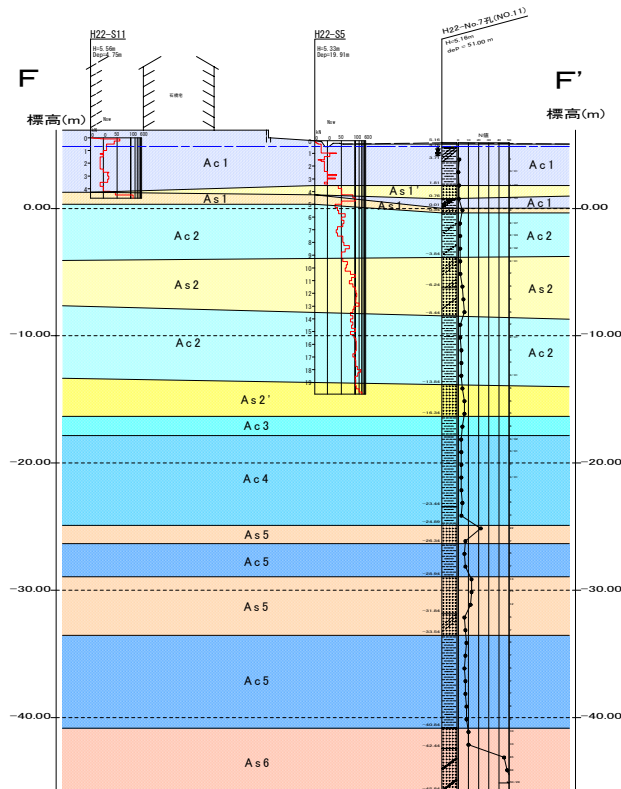
地質想定断面図 E-E'

S=1:500



地質想定断面図 F-F'

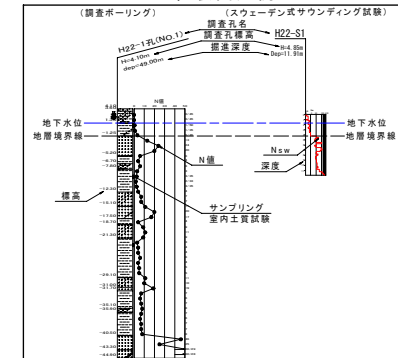
S=1:200



地質区分凡例

年代	地層名	土質区分	記号
現世	盛土層	-	Bn
沖積世	最上位粘性土層	粘性土	Ac1 Ac1'
	最上位砂質土層	砂質土	As1 As1'
	上位粘性土層	粘性土	Ac2
	上位砂質土層	砂質土	As2 As2'
	中位粘性土層	粘性土	Ac3
	中位砂質土層	砂質土	As3
	下位粘性土層	粘性土	Ac4
	下位砂質土層	砂質土	As4
	下位粘性土層	粘性土	Ac5
	下位砂質土層	砂質土	As5
洪積世	最下位砂質土層	砂質土	As6
	上位粘性土層	粘性土	Dc1
	上位砂質土層	砂質土	Ds1
	中位砂質土層	砂質土	Ds2

柱状図凡例

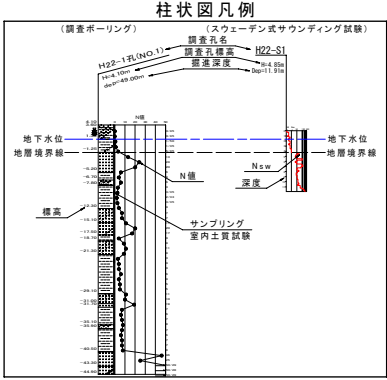


E-E' F-F'

施工年度	平成 22 年度
工事名	(仮称) 東部公園地質調査(その2)委託
路線名	
工事箇所	水戸市沢井町、浜田町 地内
図面種別	地質想定断面図
縮尺	図示
図面番号	全 業 の 内 号 (3 / 6)
内容表示	～

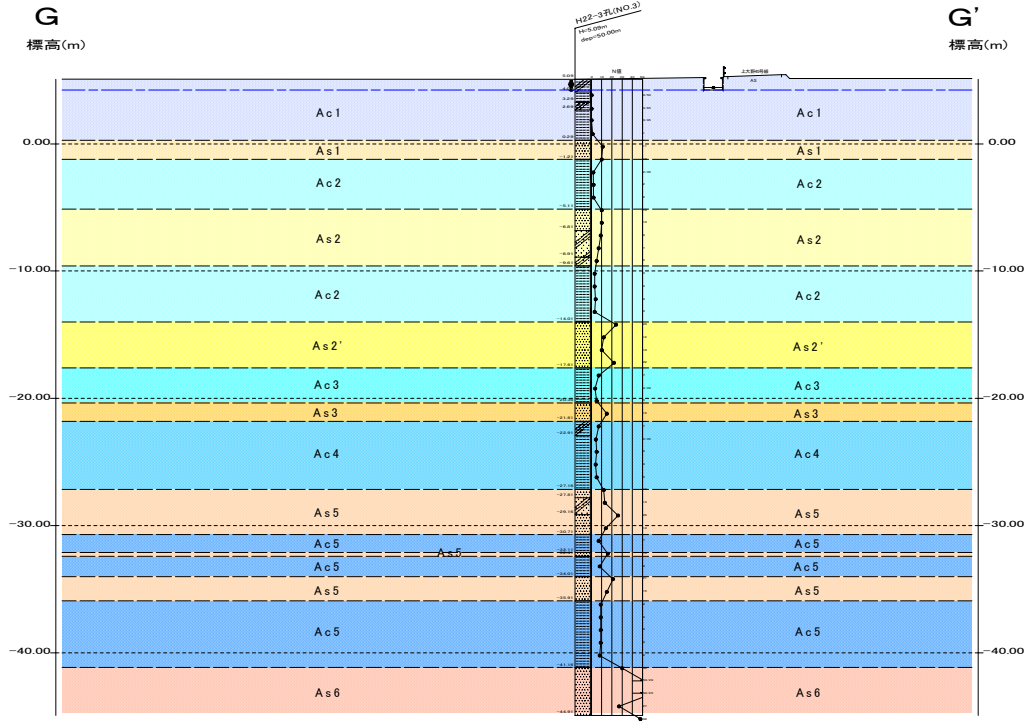
図2-11-1(3). 地質想定断面図P3

地質区分凡例			
年代	地層名	土質区分	記号
現世	盛土層	-	Bn
沖積世	最上位粘性土層	粘性土	Ac1 Ac1'
	最上位砂質土層	砂質土	As1 As1'
	上位粘性土層	粘性土	Ac2
	上位砂質土層	砂質土	As2 As2'
	中位粘性土層	粘性土	Ac3
	中位砂質土層	砂質土	As3
	下位粘性土層	粘性土	Ac4
	下位砂質土層	砂質土	As4
	下位粘性土層	粘性土	Ac5
	下位砂質土層	砂質土	As5
洪積世	最下位砂質土層	砂質土	As6
	上位粘性土層	粘性土	Ds1
	中位砂質土層	砂質土	Ds2



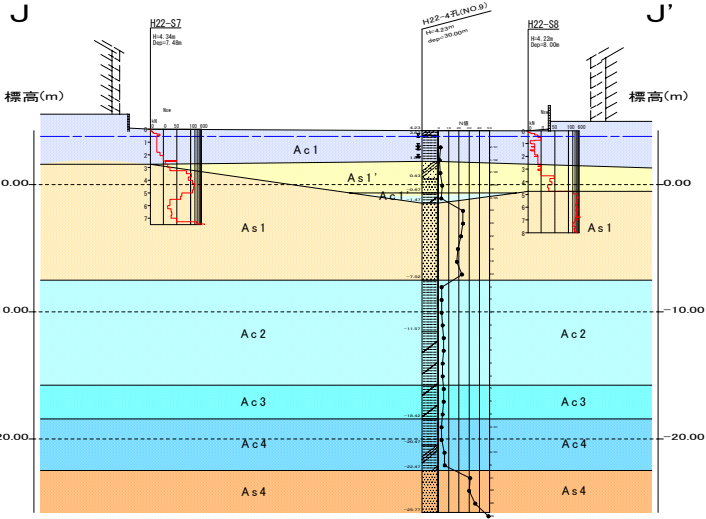
地質想定断面図 G-G'

S=1:200



地質想定断面図 J-J'

S=1:200



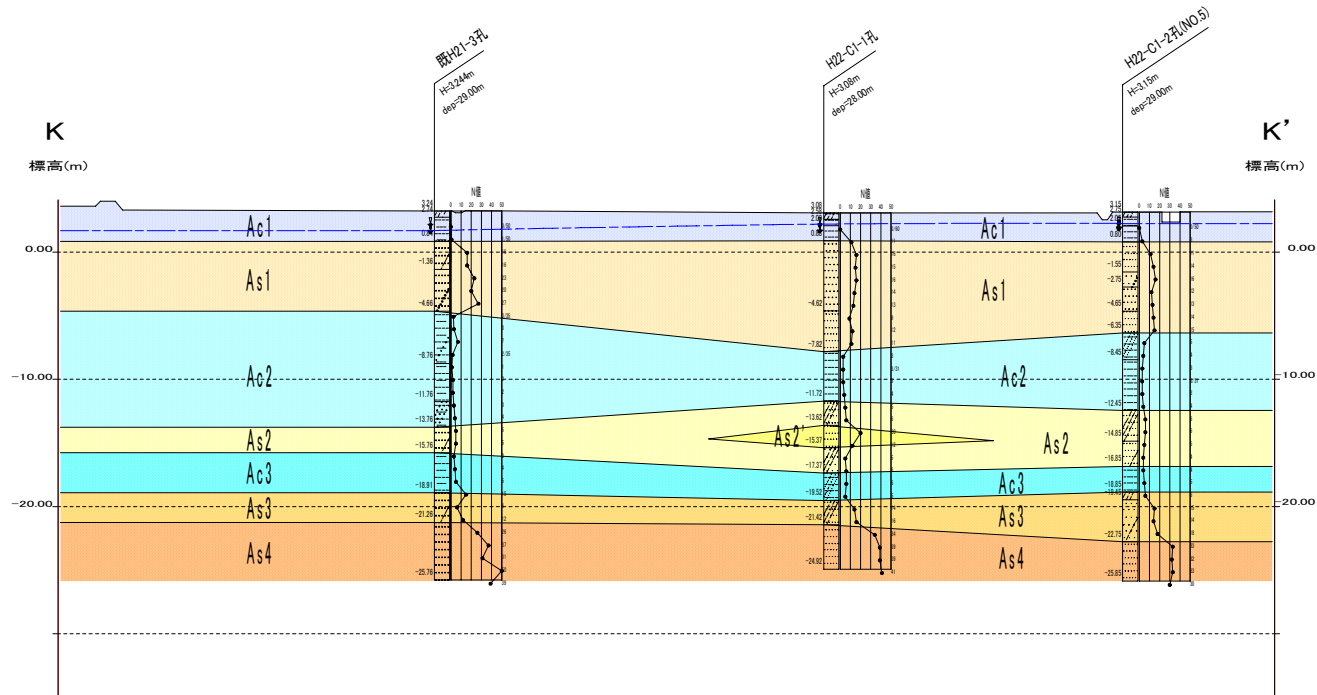
G-G' J-J'

施工年度	平成 22 年度
工事名	(仮称) 東部公園地質調査(その2)委託
路線名	
工事箇所	水戸市沢井町, 浜田町 地内
図面種別	地質想定断面図
縮尺	図示
図面番号	全 業 の 内 号 (4 / 6)
内容表示	~

図2-11-1 (4). 地質想定断面図P4

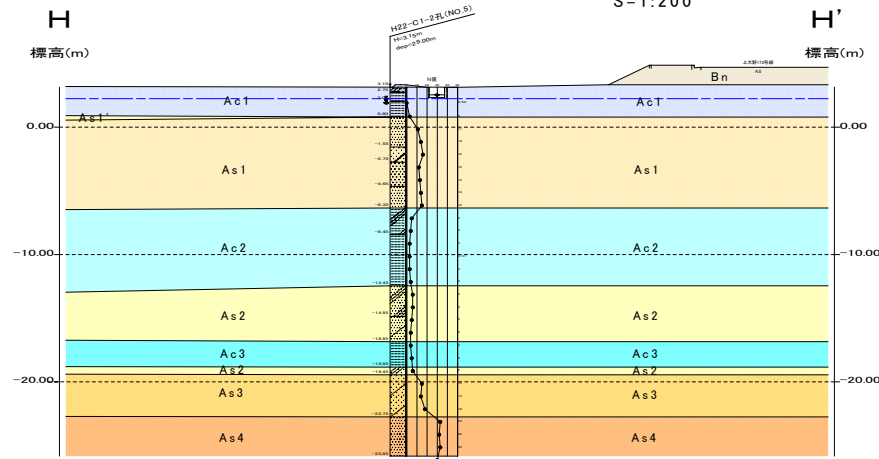
地質想定断面図 K-K'

H=1:500, V=1:200



地質想定断面図 H-H'

S=1:200



地質区分凡例

年代	地層名	土質区分	記号
現世	盛土層	-	Bn
沖積世	最上位粘性土層	粘性土	Ac1 Ac1'
	最上位砂質土層	砂質土	As1 As1'
	上位粘性土層	粘性土	Ac2
	上位砂質土層	砂質土	As2 As2'
	中位粘性土層	粘性土	Ac3
	中位砂質土層	砂質土	As3
	下位粘性土層	粘性土	Ac4
	下位砂質土層	砂質土	As4
	最下位粘性土層	粘性土	Ac5
	最下位砂質土層	砂質土	As5
洪積世	基底砂質土層	砂質土	As6
	上位粘性土層	粘性土	De1
	上位砂質土層	砂質土	Ds1
	中位砂質土層	砂質土	Ds2

柱状図凡例

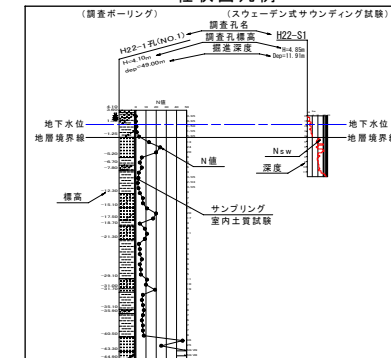
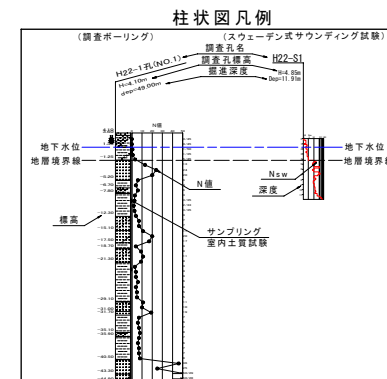


図2-11-1 (5). 地質想定断面図P5

K-K' H-H'

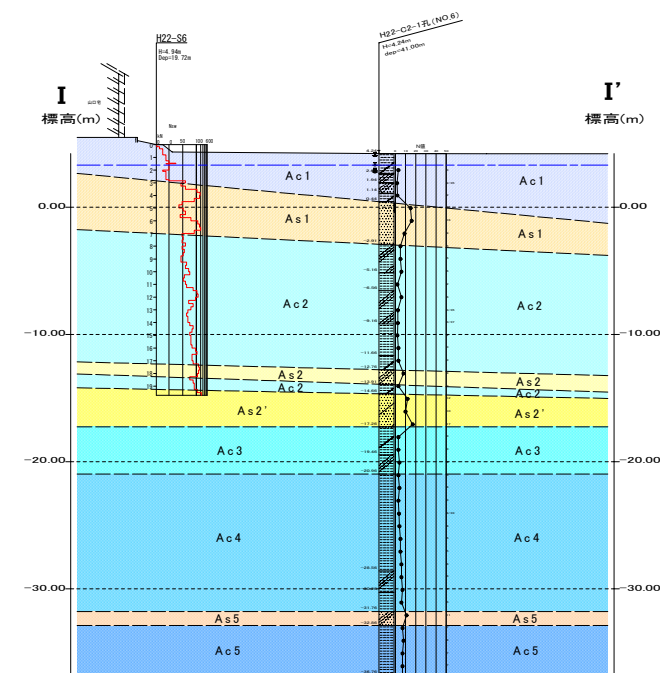
施工年度	平成 22 年度
工事名	(仮称) 東部公園地質調査(その2)委託
路線名	
工事箇所	水戸市浪井町、浜田町 地内
図面種別	地質想定断面図
縮尺	図示
図面番号	全 業 内 号 (5/6)
内容表示	～

地質区分凡例				
年代	地層名	土質区分	記号	
現世	盛土層	-	Bn	
沖積世	最上位粘性土層	粘性土	Ac1	Ac1'
	最上位砂質土層	砂質土	As1	As1'
	上位粘性土層	粘性土	Ac2	Ac2'
	上位砂質土層	砂質土	As2	As2'
	中位粘性土層	粘性土	Ac3	
	中位砂質土層	砂質土	As3	
	下位粘性土層	粘性土	Ac4	
	下位砂質土層	砂質土	As4	
	下位粘性土層	粘性土	Ac5	
	下位砂質土層	砂質土	As5	
洪積世	最下位砂質土層	砂質土	As6	
	上位粘性土層	粘性土	Dc1	
	上位砂質土層	砂質土	Ds1	
	中位砂質土層	砂質土	Ds2	



地質想定断面図 I-I'

S=1:200



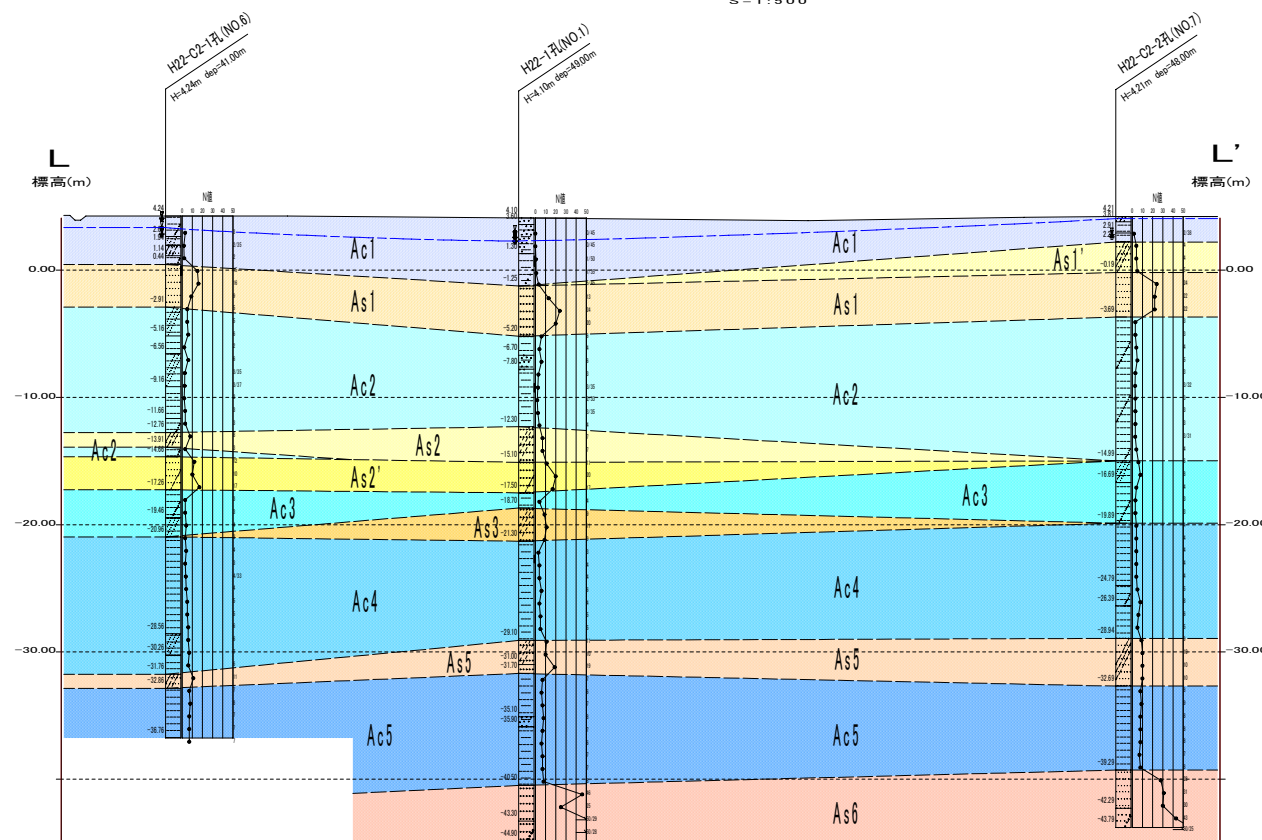
I-I' L-L'

施工年度	平成 22 年度
工事名	(仮称) 東部公園地質調査(その2)委託
路線名	
工事箇所	水戸市浪井町、浜田町 地内
図面種別	地質想定断面図
縮尺	図示
図面番号	全 業 の 内 号 (6 / 6)
内容表示	～

図2-11-1 (6). 地質想定断面図P6

地質想定断面図 L-L'

S=1:500



ボーリング柱状図

調 査 名 国補（仮称）東部公園地質調査（その2）委託

ボーリングNo.								
----------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	H22-1孔(N0.1)			調査位置	水戸市渋井町・浜田町 地内						北緯	36° 21' 44.0"				
発注機関	水戸市					調査期間	平成 22年 3月 31日 ~ 22年 4月 10日					東経	140° 30' 18.8"			
調査業者名	地質基礎工業株式会社 水戸支店 電話(029-228-3838)		主任技師		緑川 英男		現場代理人	コ鑑定者		緑川 英男		ボーリング責任者	白井 和美			
孔口標高	4.10m	角			方			地盤勾配			使用機種	カノ製KR-100H-3型		ハンマー 落下用具	コーンブーリー	
総掘進長	49.00m	度			向			配			エンジン	ヤンマー製NFAD-9型		ポンプ	内蔵式	

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位(m)/測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取		室内試験(月日)	掘進		
											深	10cmごとの打撃回数/貫入量				深	試験名および結果			深	試料採取方法
												打撃回数	0	10							
(m)	(m)	(m)	(m)						事	(m)				(m)		(m)					
1	3.60	0.50	0.50		砂質粘土	暗黄			・粘性低位、砂や腐植物混入	4/1 4/1	1.00 1.15	0 1	0 1								
2					砂質シルト	黄褐	非常に軟い		・0.5~0.9m間、砂分混入少ない	4/1 4/1	2.00 2.45	0 1	0 1								
3	1.30	2.30	2.80		砂質シルト	黄褐			・以深、微細砂分多く混入、含水やや多く、非常に軟質	4/1 4/1	3.00 3.50	0 1	0 1			3.00					
4					砂混じりシルト	黒褐	非常に軟い		・2.0m付近、砂混じり含有	4/1 4/1	4.15 4.30	0 1	0 1			3.80					
5	-1.25	2.55	5.35		砂混じりシルト	黒褐			・粘性低位、細砂を2~5cm程度の薄層にて挟む、腐植物所々混入	4/1 4/1	5.00 5.45	0 1	0 1								
6					細中砂	暗青	中位		・4.0m以深、微細砂を1cm程のパイ状に挟む	4/1 4/1	6.15 6.30	0 1	0 1								
7					細中砂	暗青	中位		・粒子不均一、含水高位、崩壊激しい	4/1 4/1	6.45 6.60	0 1	0 1		7.20						
8					細中砂	暗青	中位		・5.8m付近、小礫少量混入	4/1 4/1	7.15 7.35	0 1	0 1		7.80						
9	-5.20	3.95	9.30		細中砂	暗青	中位		・9.0m以深、暗黄灰色、φ10mm程の砂岩礫混入、粒子粗粒	4/1 4/1	8.15 8.45	0 1	0 1								
10	-6.70	1.50	10.80		シルト	暗灰	軟い		・軟質、所々に腐植物や木片混入、微細砂を1~3cm程の薄層にて挟む	4/1 4/1	9.15 9.35	0 1	0 1								
11	-7.80	1.10	11.90		砂質シルト	暗灰	中位		・微細砂混入挟み多い	4/1 4/1	10.15 10.35	0 1	0 1								
12					シルト	暗灰	軟い		・軟質、微細砂を1~5cm程の薄層にて挟む	4/1 4/1	11.15 11.35	0 1	0 1								
13					シルト	暗灰	軟い		・13.0~14.0m間、微細砂混入、パイ状に挟み多い	4/1 4/1	12.15 12.35	0 1	0 1			13.00					
14					シルト	暗灰	軟い		・16.0m以深、微細砂混入、パイ状に挟み多い	4/1 4/1	13.15 13.35	0 1	0 1			13.68					
15					シルト	暗灰	軟い		・16.0m以深、微細砂混入、パイ状に挟み多い	4/1 4/1	14.15 14.35	0 1	0 1								
16	-12.30	4.50	16.40		シルト	暗灰	軟い		・下部ほど、微細砂混入多い	4/1 4/1	15.15 15.35	0 1	0 1								
17					シルト質細砂	暗灰	緩い		・シルト分混入やや多い、砂は微細砂、所々シルト多く含有	4/1 4/1	16.15 16.35	0 1	0 1								
18					シルト質細砂	暗灰	緩い		・16.4~16.7m間、シルト分混入少量	4/1 4/1	17.15 17.35	0 1	0 1								
19	-15.10	2.80	19.20		シルト質細砂	暗灰	緩い		・17.4m以深、部分的に微細砂優勢部分あり	4/1 4/1	18.15 18.35	0 1	0 1			18.15					
20					シルト混じり細砂	暗青	中位		・粒子均一、シルト分少量混入、シルトレンズ状に挟む	4/1 4/1	19.15 19.35	0 1	0 1			18.45					
21	-17.50	2.40	21.60		シルト混じり細砂	暗青	中位		・20.0m~20.25m間、砂質シルト挟む	4/1 4/1	20.15 20.35	0 1	0 1								
22	-18.70	1.20	22.80		シルト	暗灰	軟い		・21.0m~21.35m間、シルト分混入多く軟質	4/1 4/1	21.15 21.35	0 1	0 1								
23					シルト	暗灰	軟い		・粘性低位、均一	4/1 4/1	22.15 22.35	0 1	0 1								
24					シルト	暗灰	軟い		・22.25m付近、微細砂を2cm程を薄層にて挟む	4/1 4/1	23.15 23.35	0 1	0 1								
25	-21.30	2.60	25.40		シルト	暗灰	緩い		・粒子均一、砂は微細砂、含水中位、シルトの所々挟む	4/1 4/1	24.15 24.35	0 1	0 1								
26					シルト質細砂	暗灰	緩い			4/1 4/1	25.15 25.35	0 1	0 1								
27					シルト質細砂	暗灰	緩い			4/1 4/1	26.15 26.35	0 1	0 1			26.50					
28					シルト	暗灰	軟い		・上位、微細砂多く含有	4/1 4/1	27.15 27.35	0 1	0 1			27.10					
29					シルト	暗灰	軟い		・所々、少量の腐植物混入	4/1 4/1	28.15 28.35	0 1	0 1								
30					シルト	暗灰	軟い		・27.0m以深、腐植物混入多い	4/1 4/1	29.15 29.35	0 1	0 1								
31					シルト	暗灰	軟い		・29.0m~30.0m間、微細砂混入、貝殻片混入	4/1 4/1	30.15 30.35	0 1	0 1								
32					シルト	暗灰	軟い		・31.0m以深、微細砂やや混入、腐植物少量となる	4/1 4/1	31.15 31.35	0 1	0 1								
33	-29.10	7.80	33.20		シルト	暗灰	軟い		・32.0m以深、微細砂混入多い	4/1 4/1	32.15 32.35	0 1	0 1								
34					シルト質細砂	暗青	中位		・粒子均一、微細粒砂主体	4/1 4/1	33.15 33.35	0 1	0 1								
35	-31.00	1.90	35.10		シルト質細砂	暗青	中位		・粒子均一、細粒砂主体	4/1 4/1	34.15 34.35	0 1	0 1								
36	-31.70	0.70	35.80		細粒砂	暗青	中位		・35.4m以深、シルト混入多い	4/1 4/1	35.15 35.35	0 1	0 1								
37					シルト	暗灰	中位		・腐植物や微細砂少量混入	4/1 4/1	36.15 36.35	0 1	0 1								
38					シルト	暗灰	中位		・36.3m付近、縦状に10cm程度黄褐色の凝灰質土混入	4/1 4/1	37.15 37.35	0 1	0 1								
39	-35.10	3.40	39.20		シルト	暗灰	中位		・38.0m付近、所々1cm程度凝灰質土挟む	4/1 4/1	38.15 38.35	0 1	0 1								
40	-35.90	0.80	40.00		砂質シルト	暗灰	中位		・微細砂やや多く混入	4/1 4/1	39.15 39.35	0 1	0 1								
41					砂質シルト	暗灰	中位		・39.2~39.4m間、微細砂おおく混入	4/1 4/1	40.15 40.35	0 1	0 1								
42					シルト	暗灰	中位		・腐植物少量混入、所々凝灰質土混入	4/1 4/1	41.15 41.35	0 1	0 1								
43					シルト	暗灰	中位		・下部、微細砂を多く含有	4/1 4/1	42.15 42.35	0 1	0 1								
44	-40.50	4.60	44.60		シルト	暗灰	中位			4/1 4/1	43.15 43.35	0 1	0 1								
45					細粒砂	暗青	中位		・粒子均一、シルト少量混入し半固結状呈す	4/1 4/1	44.15 44.35	0 1	0 1								
46					細粒砂	暗青	中位		・46.1~46.2m間、シルト多く含有	4/1 4/1	45.15 45.35	0 1	0 1								
47	-43.30	2.80	47.40		細粒砂	暗青	中位		・46.7m付近、小礫少量混入	4/1 4/1	46.15 46.35	0 1	0 1								
48					泥混じり粗中砂	暗青	非常に密な		・粒子不均一、φ10~30mm程の垂角~垂円状礫主体	4/1 4/1	47.15 47.35	0 1	0 1								
49	-44.90	1.60	49.00		泥混じり粗中砂	暗青	非常に密な			4/1 4/1	48.15 48.35	0 1	0 1								

ボーリング柱状図

調査名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	H22-2孔(No.2)		調査位置		水戸市浜井町・浜田町 地内					北緯		36° 21' 54.2"											
発注機関	水戸市					調査期間		平成 22年 3月 31日 ~ 22年 4月 10日			東経		140° 30' 10.3"										
調査業者名	地質基礎工業株式会社 水戸支店 電話(029-228-3838)		主任技師		緑川 英男		現代場 代理人		コ 鑑 定 者		緑川 英男		ボーリング 責任者		勝倉 正夫								
孔口標高	5.10m	角				方				地盤勾配				使用機種		試錐機		東邦製D0-D型		ハンマー 落下用具		コーンブーリー	
総掘進長	50.00m	度				向								エンジン		ヤンマー製NFAD-9型		ポンプ		内蔵式			

標尺	層高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験										原位置試験		試料採取		室内試験	掘進
											深	10cmごとの打撃回数			打撃回数 / 貫入量 (cm)	N値	深	試験名および結果	深	試料採取番号	採取方法					
												0	10	20												
(m)	(m)	(m)	(m)						事	(m)	0	10	20	30		(m)		(m)				(月)	(日)			
1	4.10	1.00	1.00		シルト質粘土	暗黄褐			・軟質、1mまで掘進後地下水の浸出確認	4.70	1.00	1	1	1	0			1.00		T2-1	①	物理一軸圧密				
2					シルト	暗灰			・均一なシルト、2.0m以深、腐植物多く含有	4.70	1.50	1	1	1	1			1.85								
3	1.75	2.35	3.35		シルト	暗灰			・3.25m付近、微細砂多く含有	4.70	2.50	1	1	1	1											
4	0.80	0.95	4.30		腐植質シルト	暗黒			・腐植物多く混入	4.70	3.00	1	1	1	1											
5					腐植質シルト	暗黒			・3.8m以深、細砂多く混入	4.70	4.15	1	1	1	1			4.50								
6	-0.80	1.60	5.90		細砂	暗灰			・上部腐植物少量混入	4.70	4.45	1	1	1	1			5.50								
7					細砂	暗灰			・下部に微細砂多く含有	4.70	6.15	1	1	1	1											
8					シルト	暗灰			・5.1m付近、3cm程度砂質シルト挟在	4.70	6.50	1	1	1	1											
9					シルト	暗灰			・軟質	4.70	7.15	1	1	1	1											
10					シルト	暗灰			・9.5mまで均一なシルト	4.70	7.50	1	1	1	1											
11					シルト	暗灰			・以深、全体に微細砂混入、所々に微細粒をシーム状に挟在	4.70	8.15	1	1	1	1											
12					シルト	暗灰			・下部に微細砂多く混入	4.70	8.50	1	1	1	1											
13	-5.20	4.40	10.30		細粒砂	暗灰			・軟質	4.70	9.15	1	1	1	1											
14					細粒砂	暗灰			・9.5mまで均一なシルト	4.70	9.50	1	1	1	1											
15					細粒砂	暗灰			・以深、全体に微細砂混入、所々に微細粒をシーム状に挟在	4.70	10.15	1	1	1	1											
16	-7.80	2.60	12.90		細粒砂	暗灰			・下部に微細砂多く混入	4.70	10.45	1	1	1	1											
17					シルト	暗灰			・軟質	4.70	11.15	1	1	1	1											
18					シルト	暗灰			・9.5mまで均一なシルト	4.70	11.45	1	1	1	1											
19					シルト	暗灰			・以深、全体に微細砂混入、所々に微細粒をシーム状に挟在	4.70	12.15	1	1	1	1											
20					シルト	暗灰			・下部に微細砂多く混入	4.70	12.45	1	1	1	1											
21	-11.00	3.20	16.10		シルト	暗灰			・軟質	4.70	13.15	1	1	1	1											
22					シルト	暗灰			・9.5mまで均一なシルト	4.70	13.45	1	1	1	1											
23					シルト	暗灰			・以深、全体に微細砂混入、所々に微細粒をシーム状に挟在	4.70	14.15	1	1	1	1											
24					シルト	暗灰			・下部に微細砂多く含有	4.70	14.45	1	1	1	1											
25	-12.40	1.40	17.50		シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	15.15	1	1	1	1											
26					シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	15.45	1	1	1	1											
27	-14.15	1.75	19.25		シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	16.15	1	1	1	1											
28					シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	16.45	1	1	1	1											
29					シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	17.15	1	1	1	1											
30					シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	17.45	1	1	1	1											
31	-17.40	3.25	22.50		シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	17.75	1	1	1	1											
32					シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	18.45	1	1	1	1											
33	-19.25	1.85	24.35		シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	18.75	1	1	1	1											
34					シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	19.45	1	1	1	1											
35					シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	19.75	1	1	1	1											
36					シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	20.45	1	1	1	1											
37	-24.90	5.65	30.00		シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	20.75	1	1	1	1											
38					シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	21.45	1	1	1	1											
39	-26.10	1.20	31.20		シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	21.75	1	1	1	1											
40					シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	22.45	1	1	1	1											
41	-27.70	1.60	32.80		シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	22.75	1	1	1	1											
42					シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	23.45	1	1	1	1											
43	-30.40	2.70	35.50		シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	23.75	1	1	1	1											
44					シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	24.45	1	1	1	1											
45	-32.70	2.30	37.80		シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	24.75	1	1	1	1											
46					シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	25.45	1	1	1	1											
47					シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	25.75	1	1	1	1											
48					シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	26.45	1	1	1	1											
49	-43.90	2.75	49.00		シルト質粘土	暗灰			・微細砂を主とする	4.70	26.75	1	1	1	1											
50	-44.90	1.00	50.00		シルト質粘土	暗灰			・均一なシルト	4.70	27.45	1	1	1	1											

ボーリング柱状図

調 査 名 国補（仮称）東部公園地質調査（その2）委託

ボーリングNo.							
----------	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	H22-3孔(N.O.3)		調査位置		水戸市渋井町・浜田町 地内						北緯		36° 21' 59.8"			
発注機関	水戸市					調査期間		平成 22年 3月 31日 ~ 22年 4月 8日				東経		140° 30' 11.4"		
調査業者名	地質基礎工業株式会社 水戸支店 電話 (029-228-3838)		主任技師		緑川 英男		現場 代理人		コ 鑑 定 者	緑川 英男		ボーリング 責任者	草野 茂治			
孔口標高	5.09m	角	180° 上 90°	方			地盤 勾配	鉛直 90°	水平 0°	使用 機種	試錐機	東邦製 D-0 型		ハンマー 落下用具	コーンブーリー	
総掘進長	50.00m	度	下 0°	向						エンジン	ヤンマー製 NFD-10 型		ポンプ	内蔵式		

[illegible]

ボーリング柱状図

調 査 名 (仮称)東部公園地質調査(その2)委託

ボーリングNo.							
----------	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	H22-4孔(N0.9)		調査位置		水戸市渋井町・浜田町 地内					北緯		36° 21' 49.0"			
発注機関	水戸市					調査期間		平成 22年 3月 23日 ~ 22年 3月 31日			東経		140° 30' 26.4"		
調査業者名	地質基礎工業株式会社 水戸支店 電話(029-228-3838)		主任技師		緑川 英男		現場代理人		- コ鑑定者 緑川 英男		ボーリング責任者		磯野 哲也		
孔口標高	4.23m	角				方				地盤勾配				使用機種	
総掘進長	30.00m	度		下 0°		向				エンジン		ヤンマーNFD-10型		ポンプ	
										利根製TS-100		ハンマー落下用具		コーンブリー	
										ヤンマーNFD-10型		ポンプ		内蔵型	

[illegible]

ボーリング柱状図

調 査 名 国補（仮称）東部公園地質調査（その2）委託

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	H22-C1-1孔(N0.4)		調査位置	水戸市渋井町・浜田町 地内					北緯	36° 21' 44.5"	
発注機関	水戸市			調査期間	平成 22年 4月 6日 ~ 22年 4月 13日				東経	140° 30' 35.0"	
調査業者名	地質基礎工業株式会社 水戸支店 電話 (029-228-3838)		主任技師	緑川 英男		現場代理人	コ鑑定者 緑川 英男		ボーリング責任者	磯野 哲也	
孔口標高	3.08m	角 	方 	地盤勾配 	使用機種	試錐機	利根製 TS-100型		ハンマー落下用具		
総掘進長	28.00m	度	向		エンジン	ヤンマー製 NFD-10型	ポンプ		内蔵式		

[illegible]

ボーリング柱状図

調 査 名 国補（仮称）東部公園地質調査（その2）委託

ボーリングNo.							
----------	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	H22-C1-2孔 (N0.5)		調査位置		水戸市 渋井町・浜田町 地内					北緯		36° 21' 46.4"		
発注機関	水戸市					調査期間		平成 22年 3月 31日 ~ 22年 4月 3日			東経		140° 30' 35.3"	
調査業者名	地質基礎工業株式会社 水戸支店 電話 (029-228-3838)		主任技師		緑川 英男		現場代理人		コ鑑定者 緑川 英男		ボーリング責任者		磯野 哲也	
孔口標高	3.15m	角 180 上 90° 下 0° 度	方 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 向	地盤勾配 鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機		利根製 TS-100型		ハンマー 落下用具		コーンブリー		
総掘進長	29.00m					エンジン		ヤンマー製 NFD-10型		ポンプ		内蔵型		

[illegible]

ボーリング柱状図

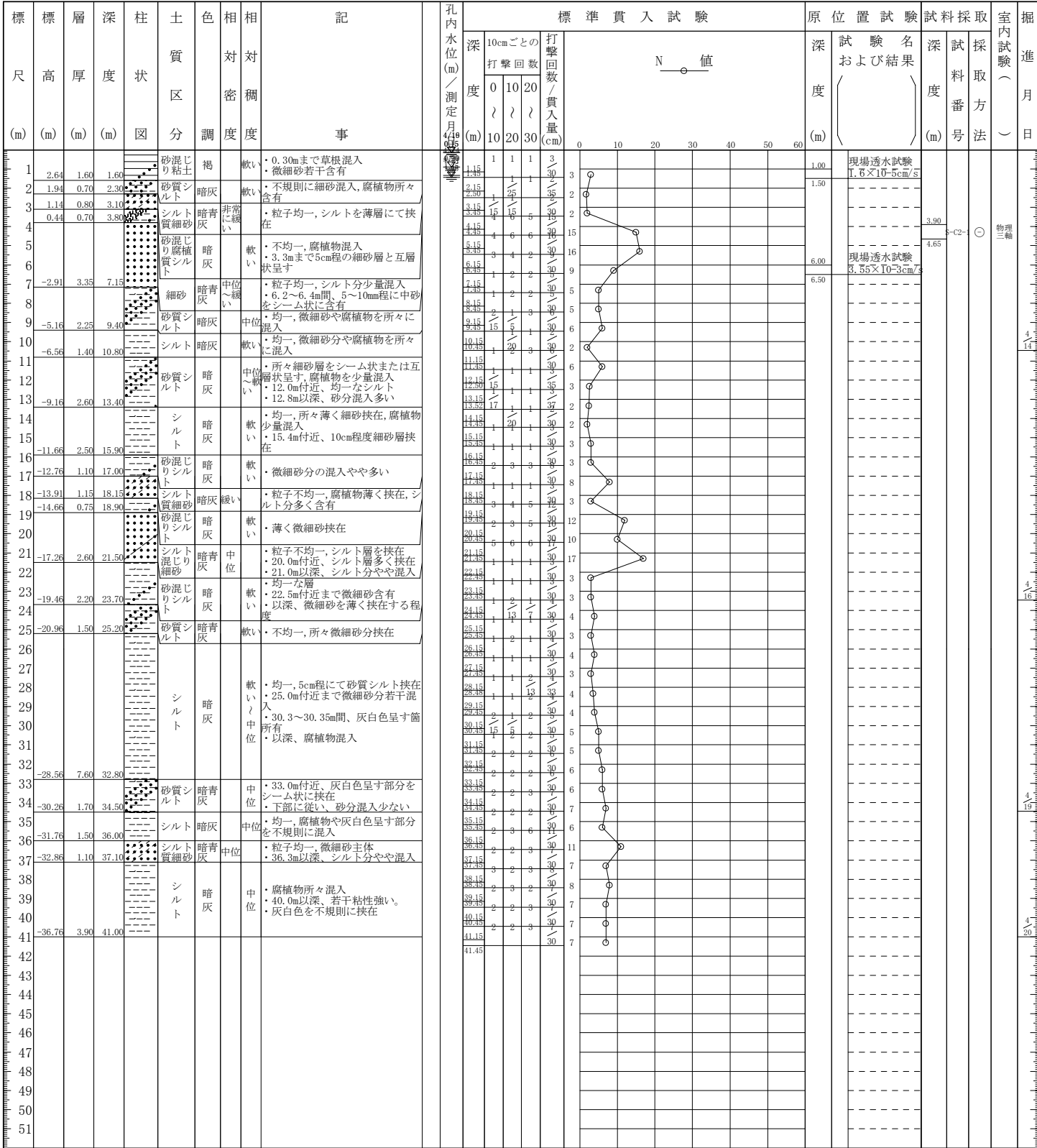
調 査 名 国 補 (仮 称) 東 部 公 園 地 質 調 査 (そ の 2) 委 託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	H22-C2-1孔 (N0.6)			調査位置	水戸市 渋井町・浜田町 地内				北 緯	36° 21' 45.3"		
発 注 機 関	水 戸 市				調査期間	平成 22年 4月 14日 ~ 22年 4月 21日			東 経	140° 30' 17.2"		
調 査 業 者 名	地質基礎工業株式会社 水戸支店 電話 (029-228-3838)			主任技師	緑 川 英 男			現 場 代 理 人	コ 鑑 定 者	緑 川 英 男		
ポ ー リ ン グ 責 任 者										白 井 和 美		
孔 口 標 高	4.24m	角		方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地 盤 勾 配	鉛 直 0° 水平 0°	使用機種	試 錐 機	カノ製KR-100H-3型	ハンマー落下用具	コーンブーリー
総 掘 進 長	41.00m	度						エンジン	ヤンマー製NFAD-9型		ポン プ	内 蔵 式



ボーリング柱状図

調 査 名 国補（仮称）東部公園地質調査（その2）委託

ボーリングNo.								
----------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	H22-C2-2孔 (N0.7)		調査位置		水戸市渋井町・浜田町 地内					北緯		36° 21' 46.1"			
発注機関	水戸市					調査期間		平成 22年 4月 16日 ~ 22年 4月 20日			東経		140° 30' 20.7"		
調査業者名	地質基礎工業株式会社 水戸支店 電話 (029-228-3838)		主任技師		緑川 英男		現場代理人		コ鑑 定 者 緑川 英男		ボーリング責任者		磯野 哲也		
孔口標高	4.21m	角				方				地盤勾配				使用機種	
総掘進長	48.00m	度				向				試錐機		利根製 TS-100 型		ハンマー落下用具	
										エンジン		ヤンマー製 NFD-10 型		ポンプ	
														コーンブーリー	
														内蔵式	

[illegible]

ボーリング柱状図

調 査 名 国補（仮称）東部公園地質調査（その2）委託

ボーリングNo.								
----------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	H22-5孔(N0.8)			調査位置	水戸市渋井町・浜田町 地内					北緯	36° 21' 55.8"					
発注機関	水戸市					調査期間	平成 22年 4月 13日 ~ 22年 4月 20日				東経	140° 30' 16.8"				
調査業者名	地質基礎工業株式会社 水戸支店 電話(029-228-3838)		主任技師	緑川 英男		現場代理人	コア鑑定者 緑川 英男		ボーリング責任者	草野 茂治						
孔口標高	5.43m	角			方			地盤勾配			使用機種	東邦製D-0型		ハンマー落下用具	コーンブリー	
総掘進長	50.00m	度			向			配			エンジン	ヤンマー製NFD-10型		ポンプ	内蔵式	

[illegible]

ボーリング柱状図

調 査 名 国補（仮称）東部公園地質調査（その2）委託

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	H22-No. 7 孔 (N0. 11)		調査位置		水戸市 渋井町・浜田町 地内					北緯		36° 21' 48.1"		
発注機関	水戸市役所					調査期間		平成 22年 7月 16日 ~ 22年 7月 26日			東経		140° 30' 14.5"	
調査業者名	地質基礎工業株式会社 水戸支店 電話 (029-228-3838)		主任技師		緑川 英男		現場代理人		コ鑑定者 緑川 英男		ボーリング責任者		磯野 哲也	
孔口標高	5.16m	角 180上 90° 90° 0下	方 北 0° 270° 90° 180° 0° 西 東 南	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用機種 試錐機 エンジン	利根製 TS-100 型			ハンマー 落下用具		コーンブリー			
総掘進長	51.00m					度	向	配	種	ヤンマー製 NFD-10 型			ポンプ	

標尺	層高	厚	度	柱状	土質区分	色相	対対	相対	記	孔内水位(m)/測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室内試験(月日)	掘進		
											深	10cmごとの打撃回数/貫入量			N値	深	試験名および結果	深			試料番号	採取方法
												度	0	10								
(m)	(m)	(m)	(m)	図					事		(m)	10	20	30	(m)		(m)					
1	4.76	0.40	0.30		粘性土	褐灰			・草根混入	1.45	1/30	1/30	1	0								
2	3.71	1.05	1.45		粘土質シルト	褐灰	非常に軟い		・均一な粘性土、有機物少量混入 ・0.50m無水掘時0.28mで浸み出し安定	2.15	1/30	1/30	0									
3	1.81	1.90	3.35		シルト	暗黒灰	非常に軟い		・有機質な粘性土	3.15	1/30	1/30	1									
4	0.76	1.05	4.40		細砂	暗灰	非常に軟い		・シルト所々多く混入、粒子均一	3.55	1/30	1/30	1									
5	0.01	0.75	5.15		腐植質シルト	黒灰	非常に軟い		・腐植物多く混入	4.15	1/30	1/30	2									
6	0.34	0.35	9.50		シルト質細砂	暗青灰	緩い		・不規則にシルト挟在	4.65	1/30	1/30	2									
7					細砂混じりシルト	暗灰	非常に軟い		・上部、細砂を不規則に混入 ・所々、有機物少量点在 ・下方、砂質シルト主体	5.15	1/30	1/30	2									
8					シルト質細砂	暗灰	非常に緩い		・比較的粒子均一、シルトを不規則～互層状に挟在	6.45	1/30	1/30	2									
9	-3.84	3.50	9.00		シルト混じり細砂	暗灰	緩い		・粒子均一	6.95	1/30	1/30	2									
10	-6.24	2.40	11.40		シルト	暗灰	軟い		・均一なシルト、所々微細砂をポケット状に混入 ・16.00m以深、微細砂多く混入	7.15	1/30	1/30	2									
11					シルト	暗灰	軟い			7.35	1/30	1/30	2									
12					シルト	暗灰	軟い			8.15	1/30	1/30	2									
13	-8.44	2.20	13.60		シルト	暗灰	軟い			8.45	1/30	1/30	2									
14					シルト	暗灰	軟い			9.15	1/30	1/30	2									
15					シルト	暗灰	軟い			9.45	1/30	1/30	2									
16					シルト	暗灰	軟い			9.95	1/30	1/30	2									
17					シルト	暗灰	軟い			10.15	1/30	1/30	2									
18					シルト	暗灰	軟い			10.35	1/30	1/30	2									
19	-13.84	5.40	19.00		シルト	暗灰	軟い			11.15	1/30	1/30	2									
20					シルト	暗灰	軟い			11.35	1/30	1/30	2									
21	-16.34	2.50	21.50		シルト	暗灰	軟い			12.15	1/30	1/30	2									
22					シルト	暗灰	軟い			12.45	1/30	1/30	2									
23					シルト	暗灰	軟い			13.15	1/30	1/30	2									
24					シルト	暗灰	軟い			13.45	1/30	1/30	2									
25					シルト	暗灰	軟い			14.15	1/30	1/30	2									
26					シルト	暗灰	軟い			14.45	1/30	1/30	2									
27					シルト	暗灰	軟い			15.15	1/30	1/30	2									
28	-23.44	7.10	28.60		シルト	暗灰	軟い			15.45	1/30	1/30	2									
29					シルト	暗灰	軟い			16.15	1/30	1/30	2									
30	-24.89	1.45	30.05		シルト	暗灰	軟い			16.45	1/30	1/30	2									
31	-26.34	1.45	31.50		シルト	暗灰	軟い			17.15	1/30	1/30	2									
32					シルト	暗灰	軟い			17.45	1/30	1/30	2									
33	-28.94	2.60	34.10		シルト	暗灰	軟い			18.15	1/30	1/30	2									
34					シルト	暗灰	軟い			18.45	1/30	1/30	2									
35					シルト	暗灰	軟い			19.15	1/30	1/30	2									
36	-31.84	2.90	37.00		シルト	暗灰	軟い			19.45	1/30	1/30	2									
37					シルト	暗灰	軟い			20.15	1/30	1/30	2									
38	-33.54	1.70	38.70		シルト	暗灰	軟い			20.45	1/30	1/30	2									
39					シルト	暗灰	軟い			21.15	1/30	1/30	2									
40					シルト	暗灰	軟い			21.45	1/30	1/30	2									
41					シルト	暗灰	軟い			22.15	1/30	1/30	2									
42					シルト	暗灰	軟い			22.45	1/30	1/30	2									
43					シルト	暗灰	軟い			23.15	1/30	1/30	2									
44					シルト	暗灰	軟い			23.45	1/30	1/30	2									
45					シルト	暗灰	軟い			24.15	1/30	1/30	2									
46	-40.84	7.30	46.00		シルト	暗灰	軟い			24.45	1/30	1/30	2									
47	-42.44	1.60	47.60		シルト	暗灰	軟い			25.15	1/30	1/30	2									
48					シルト	暗灰	軟い			25.45	1/30	1/30	2									
49					シルト	暗灰	軟い			26.15	1/30	1/30	2									
50					シルト	暗灰	軟い			26.45	1/30	1/30	2									
51	-45.84	3.40	51.00		シルト	暗灰	軟い			27.15	1/30	1/30	2									
52					シルト	暗灰	軟い			27.45	1/30	1/30	2									

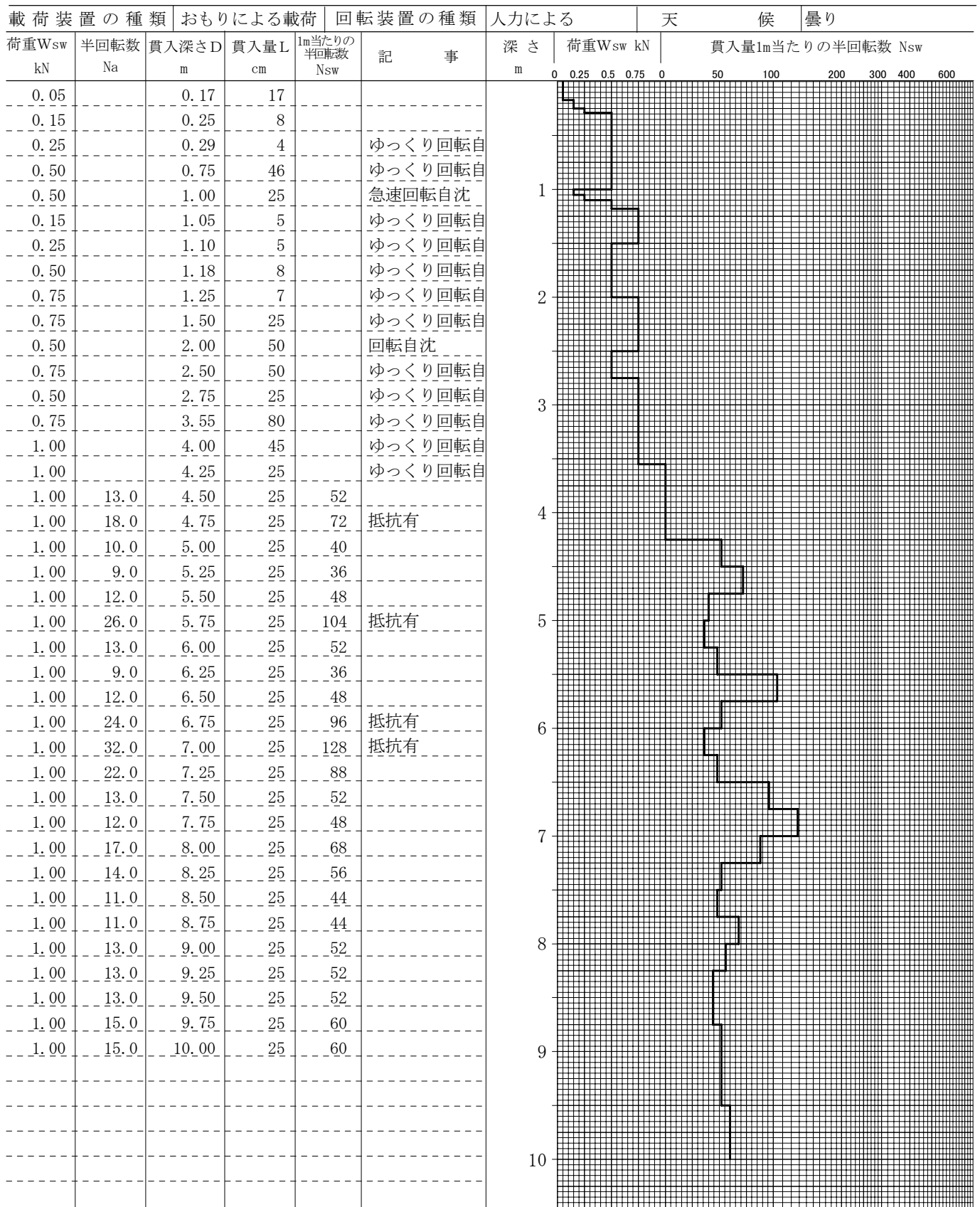
スウェーデン式サウンディング試験

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月20日

地点番号 (地盤高) H22-S1 (4.85m)

試 験 者 加藤 一範



特記事項

[1kN $\div$ 102kgf]

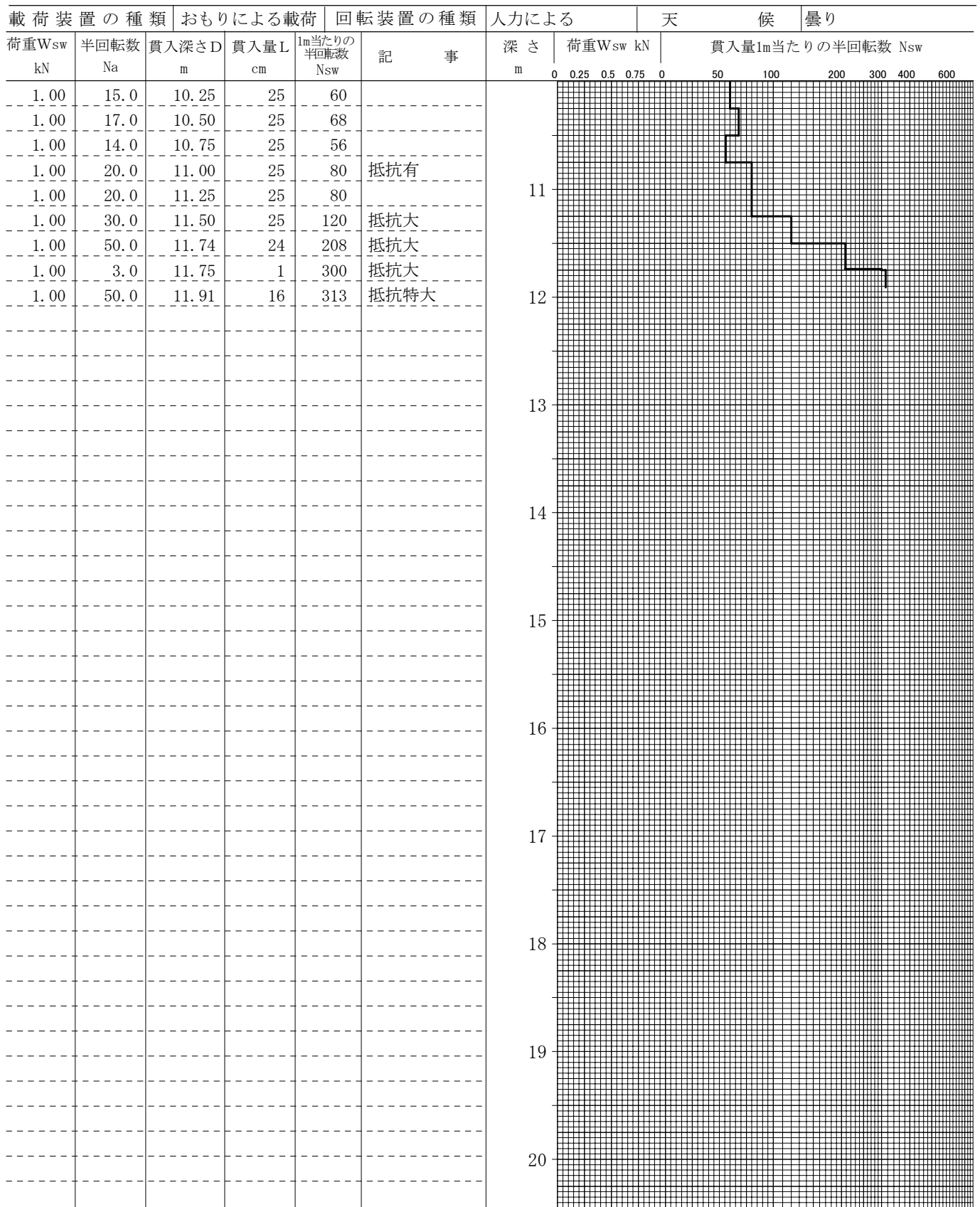
スウェーデン式サウンディング試験

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月20日

地点番号 (地盤高) H22-S1 (4.85m)

試 験 者 加藤 一範



特記事項

[1kN $\div$ 102kgf]

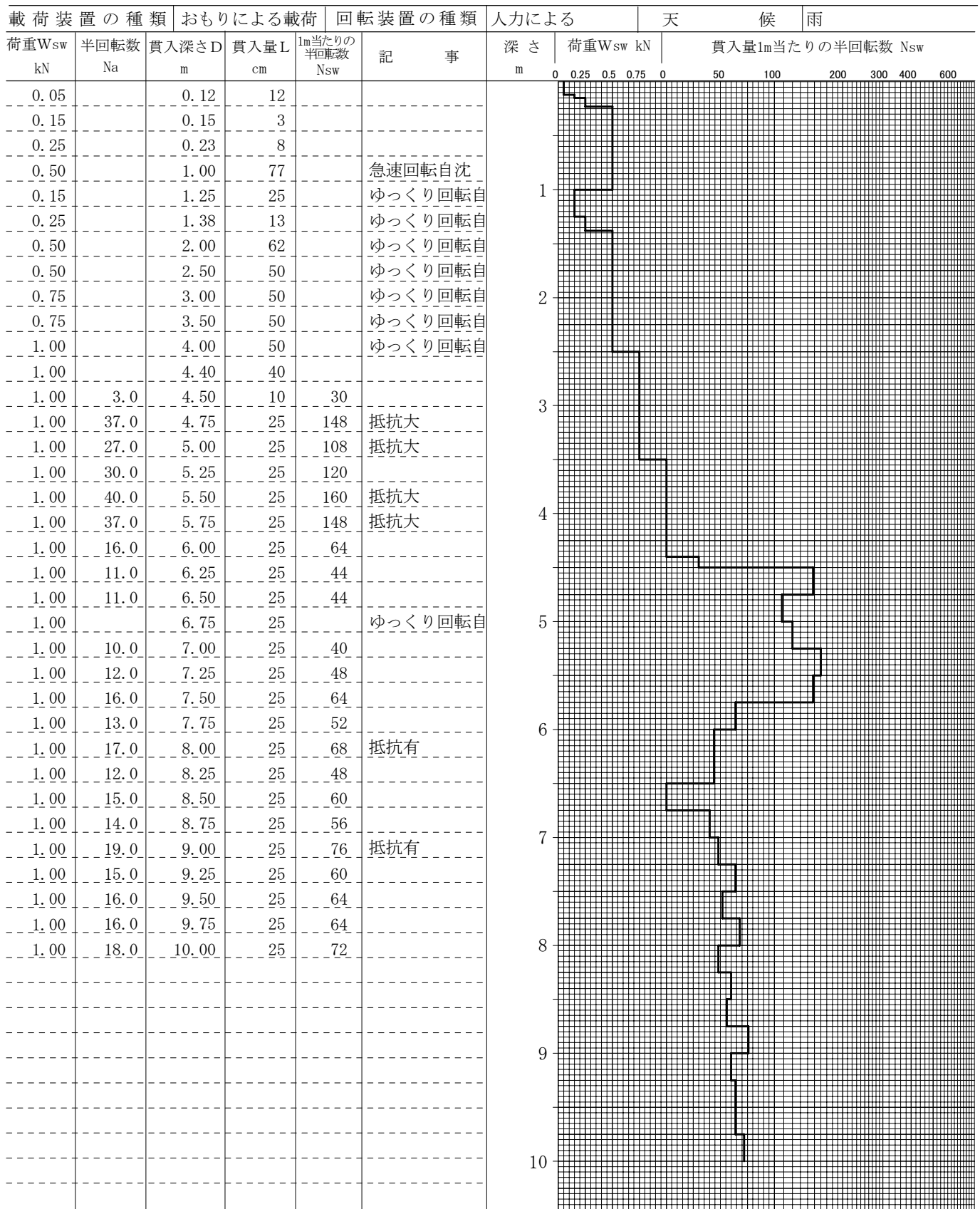
スウェーデン式サウンディング試験

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月20日

地点番号 (地盤高) H22-S2 (4.99m)

試 験 者 加藤 一範



特記事項

[1kN $\div$ 102kgf]

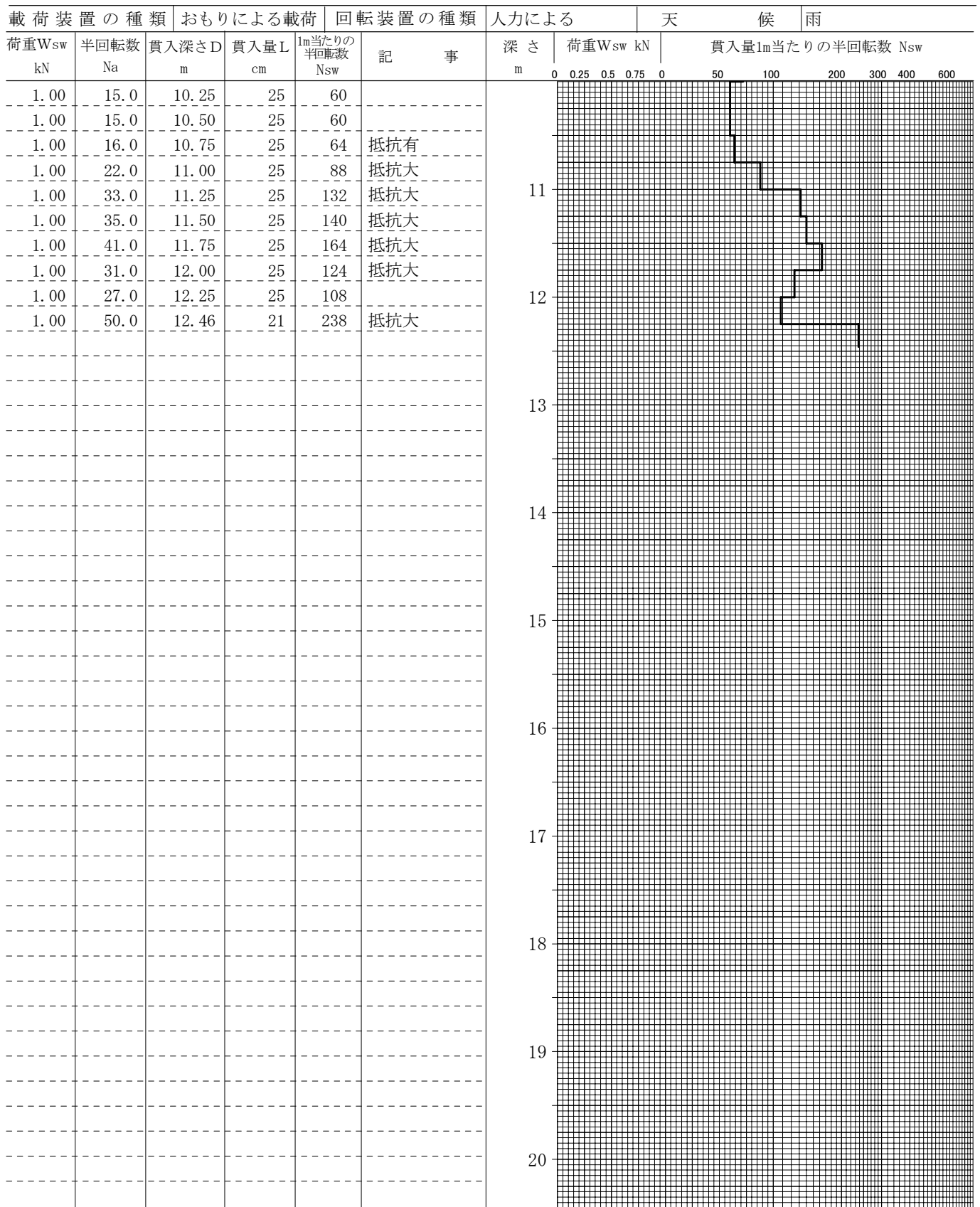
スウェーデン式サウンディング試験

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月20日

地点番号 (地盤高) H22-S2 (4.99m)

試 験 者 加藤 一範



特記事項

[1kN $\div$ 102kgf]

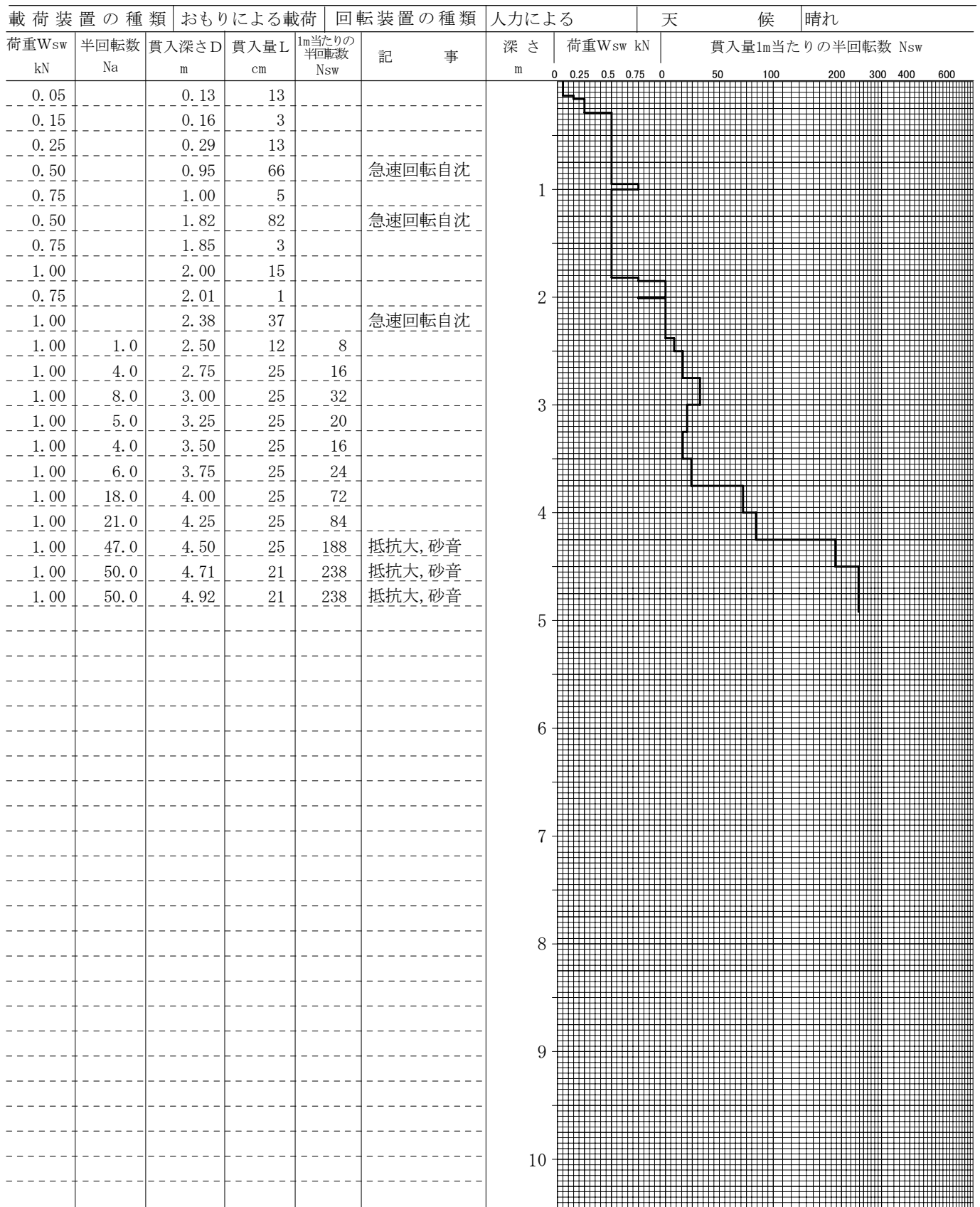
スウェーデン式サウンディング試験

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月21日

地点番号 (地盤高) H22-S3 (4.45m)

試 験 者 加藤 一範



特記事項

[1kN $\div$ 102kgf]

JIS A 1221	スウェーデン式サウンディング試験	
------------	------------------	--

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託	試験年月日 2010年4月21日
----------------------------	------------------

地点番号(地盤高) H22-S4(4.34m)	試験者 加藤 一範
-------------------------	-----------

載荷装置の種類		おもりによる載荷	回転装置の種類		人力による	天	候	晴れ
荷重W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さD m	貫入量L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記 事	深 さ m	荷重W _{sw} kN	貫入量1m当たりの半回転数 N _{sw}
0.05		0.15	15				0 0.25 0.5 0.75 0	0 50 100 200 300 400 600
0.15		0.19	4					
0.25		0.24	5					
0.50		0.34	10					
0.75		1.00	66		急速回転自沈	1		
0.25		1.10	10					
0.50		1.77	67		急速回転自沈			
0.75		1.91	14					
1.00		1.93	2			2		
1.00	4.0	2.00	7	57				
1.00	12.0	2.25	25	48	砂音			
1.00	17.0	2.50	25	68	砂音			
1.00	21.0	2.75	25	84				
1.00	47.0	3.00	25	188	抵抗大	3		
1.00	50.0	3.25	25	200	抵抗大, 砂音			
1.00	50.0	3.42	17	294	抵抗大, 砂音			
						4		
						5		
						6		
						7		
						8		
						9		
						10		

特記事項	[1kN≒102kgf]
------	--------------

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月23日

地点番号(地盤高) H22-S5(5.33m)

試験者 熊谷 広幸

載荷装置の種類		おもりによる載荷		回転装置の種類		人力による	天	候	曇り
荷重W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さD m	貫入量L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記 事	深 さ m	荷重W _{sw} kN	貫入量1m当たりの半回転数 N _{sw}	
0.05		0.15	15				0	0 0.25 0.5 0.75 0	0 50 100 200 300 400 600
0.15		0.20	5						
0.25		0.27	7						
0.50		0.50	23						
0.50		0.97	47		急速回転自沈	1			
0.75		0.97							
1.00		0.97							
1.00	1.0	1.00	3	33					
1.00	2.0	1.25	25	8		2			
0.75		1.50	25		急速回転自沈				
0.25		1.52	2		回転自沈				
0.50		1.62	10		ゆっくり回転自				
0.75		1.75	13		ゆっくり回転自				
0.75		2.00	25		ゆっくり回転自	3			
0.75		2.25	25		ゆっくり回転自				
0.75		2.42	17		ゆっくり回転自				
1.00		2.50	8		ゆっくり回転自				
1.00		2.66	16		ゆっくり回転自	4			
1.00	3.0	2.75	9	33					
1.00		2.93	18		ゆっくり回転自				
1.00	2.0	3.00	7	29					
1.00		3.25	25		ゆっくり回転自	5			
0.75		3.40	15		ゆっくり回転自				
1.00		3.50	10		ゆっくり回転自				
1.00		3.52	2		ゆっくり回転自				
1.00	9.0	3.75	23	39		6			
1.00	13.0	4.00	25	52					
1.00	13.0	4.25	25	52					
1.00	23.0	4.50	25	92	抵抗有				
1.00	26.0	4.75	25	104	抵抗有				
1.00	13.0	5.00	25	52	抵抗有	7			
1.00	7.0	5.25	25	28					
1.00	9.0	5.50	25	36					
1.00	10.0	5.75	25	40					
1.00	16.0	6.00	25	64		8			
1.00	13.0	6.25	25	52					
1.00	15.0	6.50	25	60					
1.00	14.0	6.75	25	56					
1.00	9.0	7.00	25	36		9			
1.00	8.0	7.25	25	32					
1.00	9.0	7.50	25	36					
1.00	14.0	7.75	25	56					
1.00	14.0	8.00	25	56		10			
1.00	15.0	8.25	25	60					
1.00	20.0	8.50	25	80					

特記事項

[1kN≒102kgf]

JIS A 1221	スウェーデン式サウンディング試験	
------------	------------------	--

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月23日

地点番号(地盤高) H22-S5(5.33m)

試験者 熊谷 広幸

載荷装置の種類		おもりによる載荷		回転装置の種類		人力による	天	候	曇り
荷重W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さD m	貫入量L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記 事	深 さ m	荷重W _{sw} kN	貫入量1m当たりの半回転数 N _{sw}	
1.00	16.0	8.75	25	64					
1.00	13.0	9.00	25	52					
1.00	13.0	9.25	25	52					
1.00	14.0	9.50	25	56					
1.00	18.0	9.75	25	72					
1.00	17.0	10.00	25	68	抵抗有				
1.00	16.0	10.25	25	64	抵抗有				
1.00	21.0	10.50	25	84	抵抗有				
1.00	26.0	10.75	25	104	抵抗有				
1.00	22.0	11.00	25	88	抵抗有				
1.00	20.0	11.25	25	80	抵抗有				
1.00	23.0	11.50	25	92	抵抗有				
1.00	26.0	11.75	25	104	抵抗有				
1.00	29.0	12.00	25	116	抵抗有				
1.00	33.0	12.25	25	132	抵抗大				
1.00	29.0	12.50	25	116	抵抗大				
1.00	28.0	12.75	25	112	抵抗大				
1.00	50.0	13.00	25	200	抵抗大				
1.00	24.0	13.25	25	96	抵抗大				
1.00	23.0	13.50	25	92	抵抗大				
1.00	21.0	13.75	25	84	抵抗有				
1.00	23.0	14.00	25	92	抵抗有				
1.00	21.0	14.25	25	84	抵抗有				
1.00	23.0	14.50	25	92	抵抗大				
1.00	22.0	14.75	25	88	抵抗有				
1.00	27.0	15.00	25	108	抵抗有				
1.00	21.0	15.25	25	84	抵抗有				
1.00	24.0	15.50	25	96	抵抗有				
1.00	28.0	15.75	25	112					
1.00	30.0	16.00	25	120					
1.00	31.0	16.25	25	124					
1.00	31.0	16.50	25	124					
1.00	26.0	16.75	25	104					
1.00	23.0	17.00	25	92					
1.00	25.0	17.25	25	100					
1.00	28.0	17.50	25	112					
1.00	28.0	17.75	25	112					
1.00	37.0	18.00	25	148	抵抗大				
1.00	50.0	18.19	19	263	抵抗大				
1.00	11.0	18.25	6	183	抵抗大				
1.00	39.0	18.50	25	156	抵抗大				
1.00	25.0	18.75	25	100	抵抗大				
1.00	28.0	19.00	25	112	抵抗大				
1.00	27.0	19.25	25	108	抵抗大				
1.00	31.0	19.50	25	124	抵抗大				

特記事項

[1kN≒102kgf]

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月23日

地点番号(地盤高) H22-S5(5.33m)

試験者 熊谷 広幸

載荷装置の種類		おもりによる載荷		回転装置の種類		人力による		天		候		曇り					
荷重W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さD m	貫入量L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記 事	深 さ m	荷重W _{sw} kN	貫入量1m当たりの半回転数 N _{sw}									
1.00	50.0	19.75	25	200	抵抗大		0	0.25	0.5	0.75	0	50	100	200	300	400	600
1.00	50.0	19.91	16	313	抵抗大, 回転不能												
						21											
						22											
						23											
						24											
						25											
						26											
						27											
						28											
						29											
						30											

特記事項

[1kN≒102kgf]

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月21日

地点番号(地盤高) H22-S6(4.94m)

試験者 加藤 一範

載荷装置の種類		おもりによる載荷		回転装置の種類		人力による	天	候	晴れ
荷重W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さD m	貫入量L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記 事	深 さ m	荷重W _{sw} kN	貫入量1m当たりの半回転数 N _{sw}	
0.05		0.16	16				0	0	0
0.15		0.17	1				0.25	0	0
0.25		0.32	15		急速回転自沈		0.5	0	0
0.50		0.75	43		急速回転自沈, 力		0.75	0	0
0.50		0.80	5		ゆっくり回転自	1	0	0	0
0.75		1.26	46		ゆっくり回転自		0	0	0
1.00		1.46	20		回転自沈		0	0	0
1.00	1.0	1.50	4	25			0	0	0
0.75		1.52	2		回転自沈	2	0	0	0
1.00		1.60	8		ゆっくり回転自		0	0	0
1.00		2.00	40		急速回転自沈		0	0	0
0.50		2.10	10		ゆっくり回転自		0	0	0
0.75		2.50	40		ゆっくり回転自	3	0	0	0
0.75		2.75	25		ゆっくり回転自		0	0	0
1.00		2.85	10		ゆっくり回転自		0	0	0
1.00	9.0	3.00	15	60			0	0	0
1.00	11.0	3.25	25	44			0	0	0
1.00	15.0	3.50	25	60		4	0	0	0
1.00	27.0	3.75	25	108			0	0	0
1.00	45.0	4.00	25	180	抵抗大		0	0	0
1.00	42.0	4.25	25	168	抵抗大		0	0	0
1.00	23.0	4.50	25	92		5	0	0	0
1.00	12.0	4.75	25	48			0	0	0
1.00	9.0	5.00	25	36			0	0	0
1.00	13.0	5.25	25	52			0	0	0
1.00	15.0	5.50	25	60		6	0	0	0
1.00	10.0	5.75	25	40			0	0	0
1.00	20.0	6.00	25	80			0	0	0
1.00	31.0	6.25	25	124			0	0	0
1.00	41.0	6.50	25	164			0	0	0
1.00	50.0	6.75	25	200	抵抗大	7	0	0	0
1.00	23.0	7.00	25	92			0	0	0
1.00	12.0	7.25	25	48			0	0	0
1.00	13.0	7.50	25	52			0	0	0
1.00	12.0	7.75	25	48		8	0	0	0
1.00	15.0	8.00	25	60			0	0	0
1.00	12.0	8.25	25	48			0	0	0
1.00	14.0	8.50	25	56			0	0	0
1.00	13.0	8.75	25	52		9	0	0	0
1.00	11.0	9.00	25	44			0	0	0
1.00	11.0	9.25	25	44			0	0	0
1.00	16.0	9.50	25	64			0	0	0
1.00	15.0	9.75	25	60			0	0	0
1.00	18.0	10.00	25	72		10	0	0	0

特記事項

[1kN≒102kgf]

JIS A 1221	スウェーデン式サウンディング試験	
------------	------------------	--

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託	試験年月日 2010年4月21日
----------------------------	------------------

地点番号(地盤高) H22-S6(4.94m)	試験者 加藤 一範
-------------------------	-----------

載荷装置の種類		おもりによる載荷		回転装置の種類		人力による				天 候		晴れ					
荷重W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さD m	貫入量L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記 事	深 さ m	荷重W _{sw} kN				貫入量1m当たりの半回転数 N _{sw}						
							0	0.25	0.5	0.75	0	50	100	200	300	400	600
1.00	19.0	10.25	25	76													
1.00	14.0	10.50	25	56													
1.00	13.0	10.75	25	52													
1.00	15.0	11.00	25	60													
1.00	16.0	11.25	25	64		11											
1.00	22.0	11.50	25	88													
1.00	28.0	11.75	25	112	抵抗大												
1.00	33.0	12.00	25	132													
1.00	24.0	12.25	25	96		12											
1.00	18.0	12.50	25	72													
1.00	22.0	12.75	25	88													
1.00	20.0	13.00	25	80													
1.00	17.0	13.25	25	68		13											
1.00	16.0	13.50	25	64													
1.00	17.0	13.75	25	68													
1.00	17.0	14.00	25	68													
1.00	19.0	14.25	25	76		14											
1.00	22.0	14.50	25	88													
1.00	21.0	14.75	25	84													
1.00	19.0	15.00	25	76													
1.00	20.0	15.25	25	80													
1.00	20.0	15.50	25	80		15											
1.00	20.0	15.75	25	80													
1.00	21.0	16.00	25	84													
1.00	24.0	16.25	25	96													
1.00	27.0	16.50	25	108		16											
1.00	21.0	16.75	25	84													
1.00	21.0	17.00	25	84													
1.00	22.0	17.25	25	88													
1.00	35.0	17.50	25	140	抵抗大	17											
1.00	40.0	17.75	25	160	抵抗大												
1.00	36.0	18.00	25	144	抵抗大												
1.00	30.0	18.25	25	120	抵抗大												
1.00	19.0	18.50	25	76													
1.00	22.0	18.75	25	88		18											
1.00	23.0	19.00	25	92													
1.00	23.0	19.25	25	92	抵抗大												
1.00	29.0	19.50	25	116	抵抗大												
1.00	50.0	19.72	22	227	抵抗大, 回転不能	19											

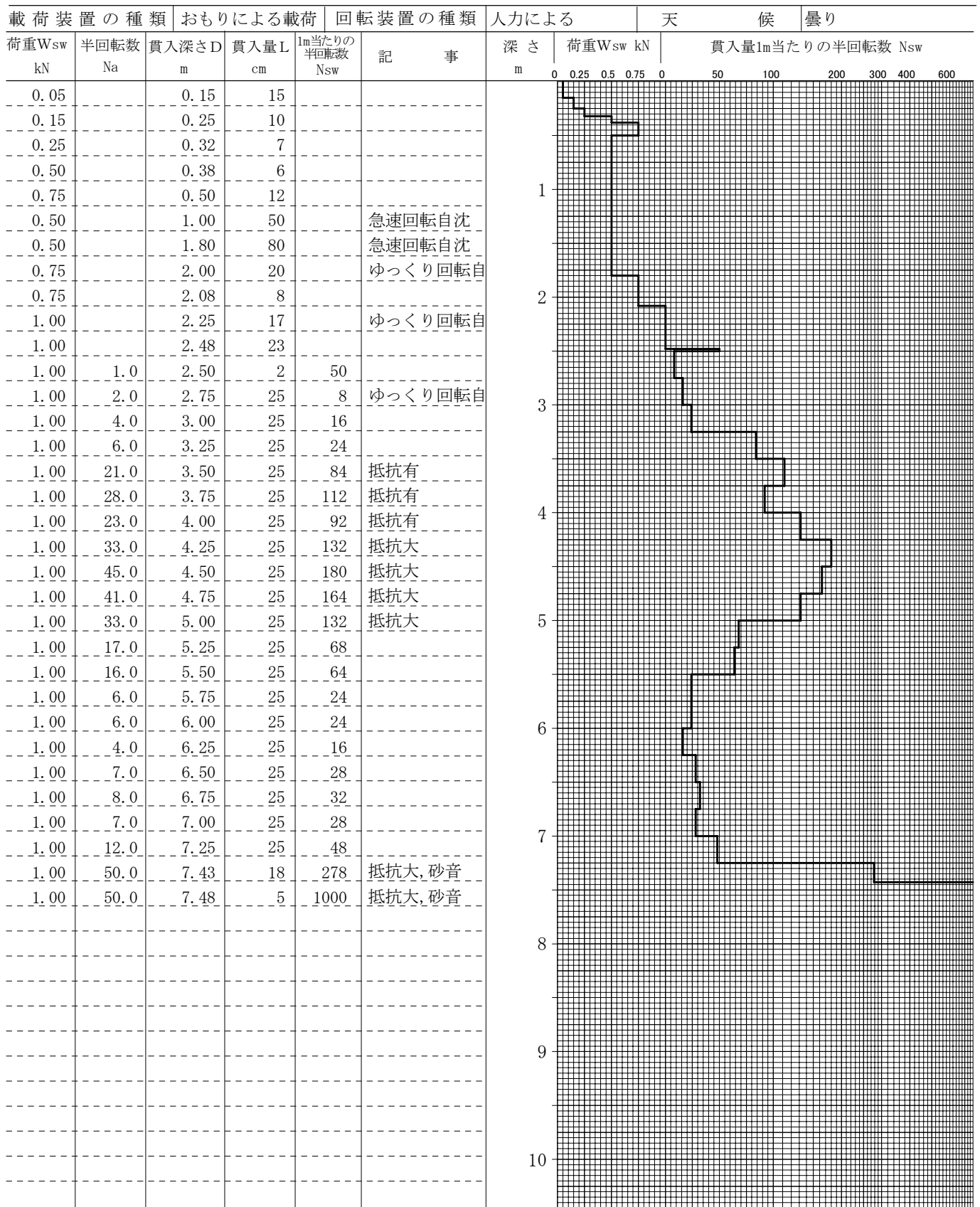
スウェーデン式サウンディング試験

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月20日

地点番号 (地盤高) H22-S7 (4.34m)

試 験 者 加藤 一 範



特記事項

[1kN $\div$ 102kgf]

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月7日

地点番号(地盤高) H22-S8(4.22m)

試験者 加藤 一範

載荷装置の種類		おもりによる載荷		回転装置の種類		人力による		天	候	曇り
荷重W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さD m	貫入量L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記 事	深 さ m	荷重W _{sw} kN	貫入量1m当たりの半回転数 N _{sw}		
0.00		0.12	12				0	0.25	0.5	0.75
0.05		0.14	2				0	50	100	200
0.15		0.18	4				0	300	400	600
0.25		0.21	3							
0.50		0.32	11		ゆっくり回転自	1				
0.75		0.42	10		ゆっくり回転自					
1.00		0.50	8		ゆっくり回転自					
0.75		0.52	2		ゆっくり回転自					
1.00		0.75	23		急速自沈	2				
0.50		0.79	4		ゆっくり回転自					
0.75		1.00	21		急速自沈					
0.25		1.01	1		ゆっくり回転自					
0.50		1.25	24		急速自沈	3				
0.25		1.26	1		ゆっくり回転自					
0.50		1.50	24		急速自沈					
0.15		1.52	2		ゆっくり回転自					
0.25		1.58	6		ゆっくり回転自	4				
0.50		1.75	17		回転自沈					
0.50		1.89	14		ゆっくり回転自					
0.75		2.00	11		回転自沈					
0.50		2.01	1		ゆっくり回転自	5				
0.75		2.25	24		ゆっくり回転自					
0.75		2.50	25		ゆっくり回転自					
0.75		2.61	11		ゆっくり回転自					
1.00		2.75	14		回転自沈					
0.75		2.81	6		ゆっくり回転自	6				
1.00		3.00	19		回転自沈					
0.75		3.10	10		ゆっくり回転自					
1.00		3.25	15		回転自沈					
1.00		3.50	25		ゆっくり回転自	7				
1.00		3.54	4		ゆっくり回転自					
1.00	10.0	3.75	21	48	抵抗有, シャリ					
1.00	8.0	4.00	25	32	無音					
1.00	10.0	4.25	25	40	無音					
1.00	6.0	4.50	25	24	無音	8				
1.00	7.0	4.75	25	28						
1.00	50.0	4.96	21	238	抵抗大					
1.00	17.0	5.00	4	425	抵抗大					
1.00	50.0	5.11	11	455	抵抗大	9				
1.00	50.0	5.21	10	500	抵抗大					
1.00	16.0	5.25	4	400	抵抗大					
1.00	50.0	5.35	10	500	抵抗大, 砂音					
1.00	50.0	5.47	12	417	抵抗大, 砂音	10				
1.00	14.0	5.50	3	467	抵抗大, 砂音					
1.00	50.0	5.62	12	417	抵抗大, 砂音					

特記事項

[1kN≒102kgf]

JIS A 1221

スウェーデン式サウンディング試験

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月7日

地点番号(地盤高) H22-S8(4.22m)

試験者 加藤 一範

載荷装置の種類		おもりによる載荷		回転装置の種類		人力による		天候曇り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
荷重W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さD m	貫入量L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記 事	深 さ m	荷重W _{sw} kN 0 0.25 0.5 0.75 0	貫入量1m当たりの半回転数 N _{sw} 50 100 200 300 400 600																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1.00	50.0	5.75	13	385	抵抗大, 砂音	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

特記事項

[1kN≒102kgf]

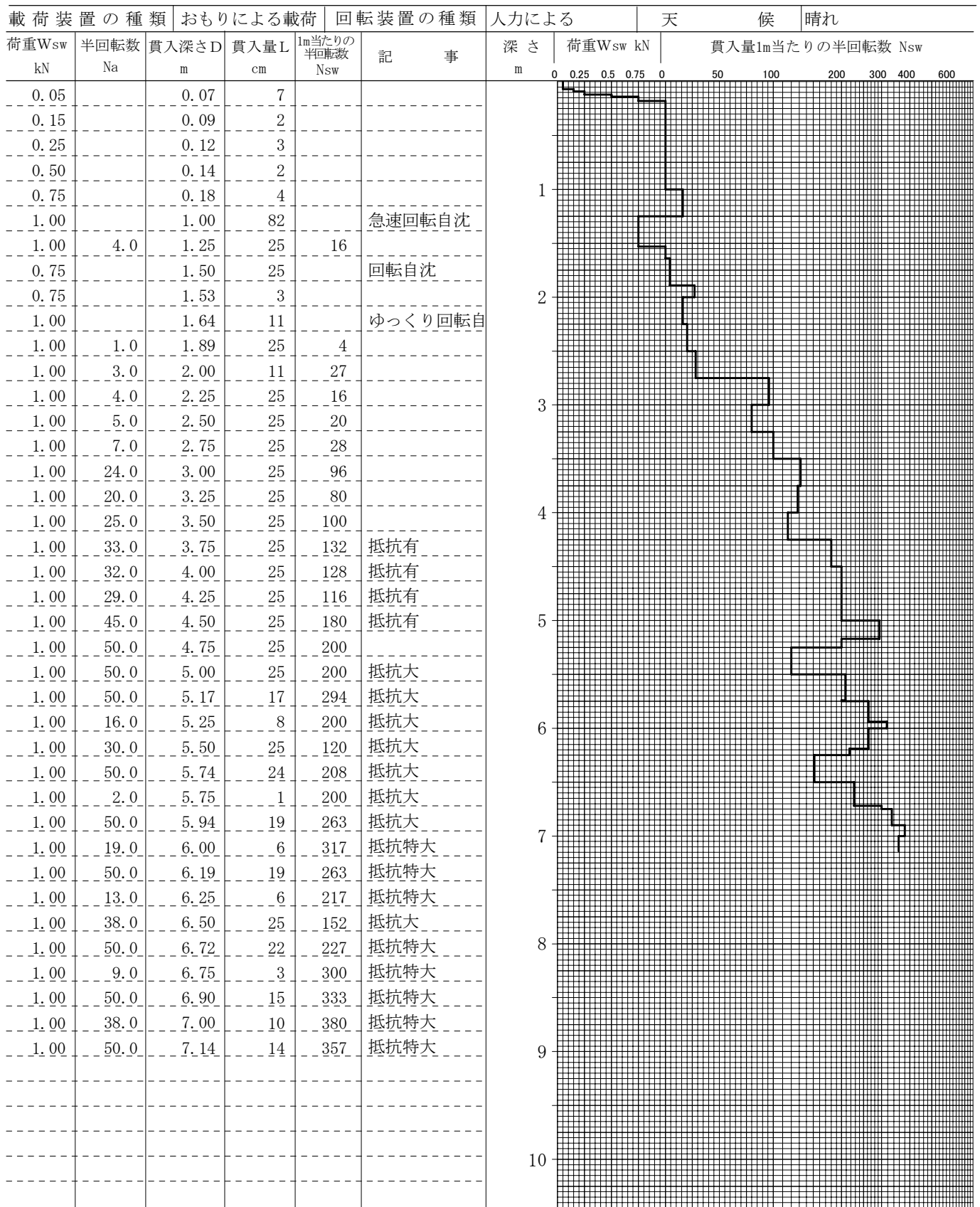
スウェーデン式サウンディング試験

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月26日

地点番号 (地盤高) H22-S9 (4.69m)

試 験 者 加藤 一 範



特記事項

[1kN $\div$ 102kgf]

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月23日

地点番号(地盤高) H22-S10(4.35m)

試験者 熊谷 広幸

載荷装置の種類		おもりによる載荷		回転装置の種類		人力による	天	候	曇り
荷重W _{sw} kN	半回転数 N _a	貫入深さD m	貫入量L cm	1m当たりの 半回転数 N _{sw}	記 事	深 さ m	荷重W _{sw} kN	貫入量1m当たりの半回転数 N _{sw}	
0.05		0.13	13				0	0 0.25 0.5 0.75 0	0 50 100 200 300 400 600
0.15		0.21	8						
0.25		0.25	4						
0.50		0.50	25						
0.50		0.66	16		急速自沈	1			
0.75		0.75	9		急速回転自沈				
0.75		1.50	75		急速回転自沈				
0.75		1.64	14		急速回転自沈				
1.00		1.75	11		急速回転自沈	2			
1.00		1.78	3		ゆっくり回転自				
1.00	5.0	2.00	22	23					
1.00	10.0	2.25	25	40					
1.00	5.0	2.50	25	20		3			
1.00		2.77	27		ゆっくり回転自				
1.00	4.0	3.00	23	17					
1.00		3.04	4		ゆっくり回転自				
1.00	1.0	3.25	21	5	回転自沈	4			
1.00	1.0	3.50	25	4	回転自沈				
0.75		3.54	4		ゆっくり回転自				
1.00		3.59	5		ゆっくり回転自				
1.00	2.0	3.75	16	13					
1.00	3.0	4.00	25	12		5			
1.00	5.0	4.25	25	20					
1.00	3.0	4.50	25	12					
1.00	6.0	4.75	25	24					
1.00	8.0	5.00	25	32		6			
1.00	12.0	5.25	25	48					
1.00	20.0	5.50	25	80	抵抗有				
1.00	23.0	5.75	25	92	抵抗有				
1.00	26.0	6.00	25	104	抵抗有	7			
1.00	28.0	6.25	25	112	抵抗有				
1.00	8.0	6.50	25	32					
0.75		6.53	3		ゆっくり回転自				
1.00		6.63	10		ゆっくり回転自	8			
1.00	8.0	6.75	12	67					
1.00	16.0	7.00	25	64					
1.00	6.0	7.25	25	24					
1.00	7.0	7.50	25	28					
1.00	9.0	7.75	25	36		9			
1.00	9.0	8.00	25	36					
1.00	11.0	8.25	25	44					
1.00	12.0	8.50	25	48					
1.00	13.0	8.75	25	52		10			
1.00	13.0	9.00	25	52					
1.00	14.0	9.25	25	56					

特記事項

[1kN≒102kgf]

スウェーデン式サウンディング試験

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年4月23日

地点番号 (地盤高) H22-S10(4.35m)

試 験 者 熊谷 広幸

[illegible]

特記事項

[1kN $\div$ 102kgf]

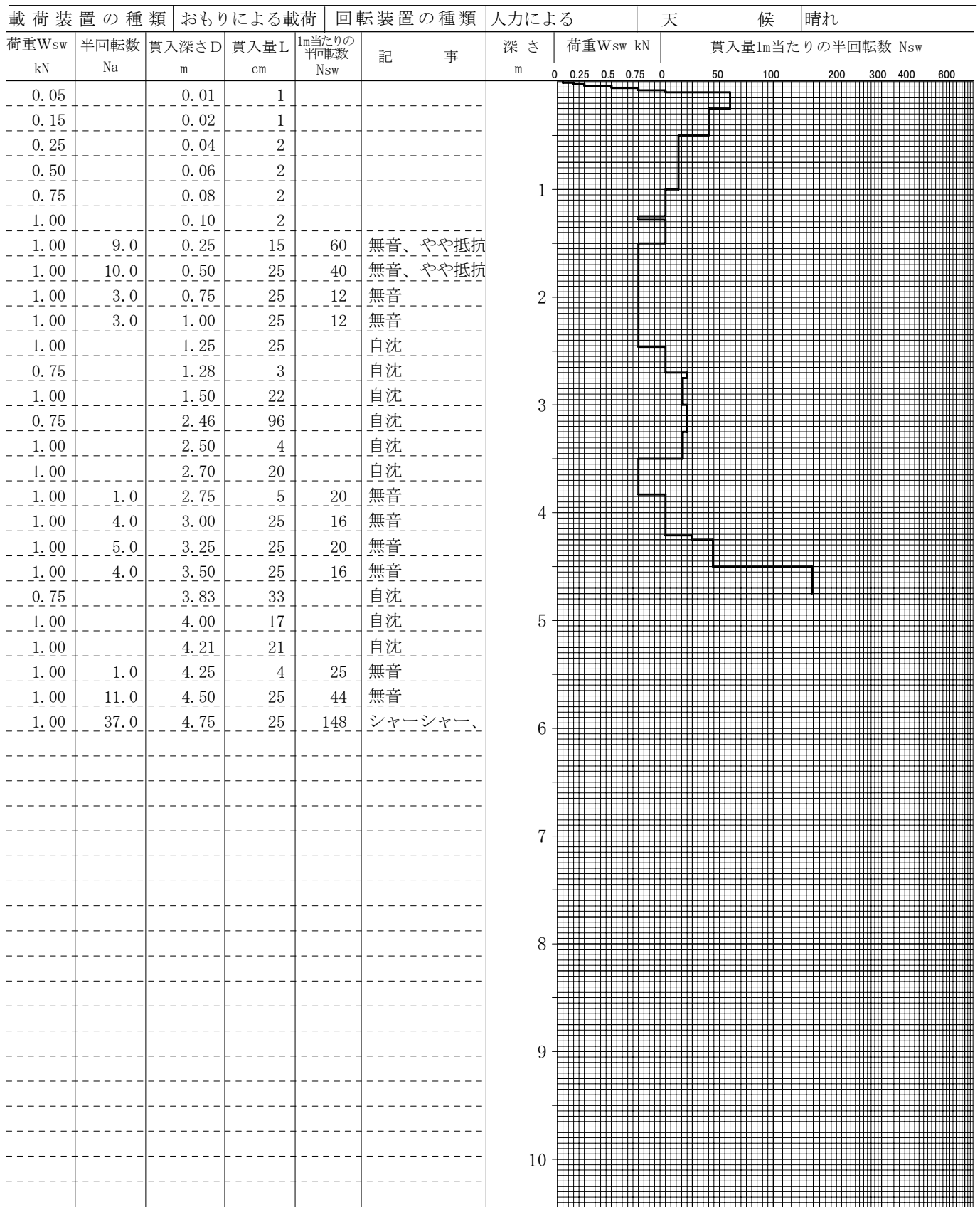
スウェーデン式サウンディング試験

調査件名 国補(仮称)東部公園地質調査(その2)委託

試験年月日 2010年7月26日

地点番号 (地盤高) H22-S11 (5.56m)

試 験 者 熊谷 広幸



特記事項

[1kN $\div$ 102kgf]